

2018年卒学生 就職活動状況 中間まとめ — 2017年2月1日時点 ~ 7月1日時点 就職プロセス調査より —

就職みらい研究所では、就職を意向する学生を対象に「就職プロセス調査」を実施しております。本資料では、2017年7月1日時点(2018年卒)までの調査結果の一部を抜粋し、「中間まとめ」としてご報告いたします。

トピックス

【就職内定率】

- 2018年卒大学生の就職内定率は、7月1日時点までのすべての月で2016年卒、2017年卒よりも高かった。(P5)

【内定先企業への入社意向】

- 2018年卒のうち、内定を保有している大学生で、「入社したい／入社したい企業がある」と回答した割合は、7月1日時点までのすべての月で2017年卒よりも高かった。(P12)

【就職確定先の従業員規模】

- 7月1日時点の就職確定先の民間企業の従業員規模は、2016年卒以降、5000人以上の大手企業の割合が年々高くなっている。(P13)

【就職活動プロセスの実施状況】

- 2018年卒と2017年卒を比較すると、「適性検査」、「エントリーシート」、「面接などの選考」のように、実施率が4月以降にピークを迎えるものについては、2018年卒で前倒しの傾向が見られた。(P15)

コンテンツ

調査概要 2

採用・就職活動のスケジュール変更について 3

第Ⅰ章:就職活動、内定、進路確定に関する状況

【1】 3月1日時点での志望進路	4
【2】 就職内定率、就職活動実施率	5
【3】 内定未取得者・取得者の就職活動実施率.....	9
【4】 内定取得社数	10
【5】 内定辞退率.....	11
【6】 内定先企業への入社意向.....	12
【7】 7月1日時点の就職確定先業種、従業員規模・13	
【8】 進路確定率、7月1日時点での進路確定状況・・14	

第Ⅱ章:就職活動プロセス、志望状況に関する状況

【1】 就職活動プロセス毎の実施状況.....	15
【2】 「学業」「就職活動」「プライベート」の時間割合・・・17	
【3】 就職志望状況<業種>	19
【4】 就職志望状況<従業員規模>.....	21
【参考】現在の就職予定先企業への就職意向.....	23

調査概要

- 調査目的** : 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する
- 調査方法** : インターネット調査
- 集計方法** : 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている
- 調査対象** : 2018年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2018』にて2016年11月15日～11月28日、2017年1月12日～1月23日、1月26日～2月6日、3月24日～4月6日、5月25日～5月30日、6月7日～6月12日に調査モニターを募集し、モニターに登録した学生5,978人(内訳: 大学生4,893人/大学院生1,085人)
※モニター登録数 7月1日現在

- 調査期間** : 下表①参照
【2018年卒】①

調査時期	調査期間	集計対象	
		大学生	大学院生
2017年	2月 2月 3日～13日	1,130人	381人
	3月 3月 2日～9日	1,257人	389人
	4月 4月 3日～10日	1,067人	353人
	5月 5月 1日～10日	1,561人	485人
	6月 6月 1日～8日	1,542人	530人
	*6月 6月 16日～20日	1,251人	454人
	7月 7月 3日～7日	1,485人	564人

* 6月は臨時調査のため2度調査

2017年卒学生(リクナビ2017会員)、2016年卒学生(リクナビ2016会員)の調査期間・集計対象は、
下表②、③参照

【2017年卒】②

調査時期	調査期間	集計対象		
		大学生	大学院生	
2016年	3月 3月 16日～28日	1,185人	379人	
	4月 4月 4日～11日	1,141人	374人	
	5月 5月 2日～12日	1,225人	448人	
	6月 6月 2日～13日	1,612人	675人	
	*6月 6月 16日～20日	1,126人	440人	
	7月 7月 1日～8日	2,030人	762人	
	8月 8月 2日～9日	1,562人	663人	
	9月 9月 2日～9日	1,341人	638人	
	10月 10月 3日～11日	1,431人	652人	
	12月 12月 2日～7日	1,476人	660人	
	2017年	*3月 3月 16日～27日	1,850人	684人

* 6月は臨時調査のため2度調査

* 3月卒業時点

【2016年卒】③

調査時期	調査期間	集計対象	
		大学生	大学院生
2015年	3月 3月 13日～23日	1,650人	477人
	4月 4月 3日～10日	1,448人	444人
	5月 5月 1日～11日	1,075人	383人
	6月 6月 2日～8日	1,268人	438人
	7月 7月 2日～8日	1,181人	442人
	8月 8月 3日～10日	1,205人	441人
	*8月 8月 17日～19日	956人	394人
	9月 9月 2日～8日	1,173人	461人
	10月 10月 2日～7日	1,128人	452人
	11月 11月 2日～10日	1,134人	467人
	12月 12月 2日～8日	1,108人	454人
	2016年	2月 2月 2日～9日	1,001人
*3月 3月 16日～24日		945人	374人

* 8月は臨時調査のため2度調査

* 3月卒業時点

調査概要

《用語の定義》

- 就職意向者 = 当初(本調査モニター募集時)の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者(※)
- 就職内定取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験がない者
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定(内々定)の辞退経験がある者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者

《各率の算出方法》

- 就職志望率 = 就職志望人数 ÷ 就職意向人数
- 就職活動実施率 = 就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
- 就職内定率 = 就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
- 就職内定辞退率 = 就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数
- 進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数

※ 就職活動実施者は、就職活動を「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある

《その他》

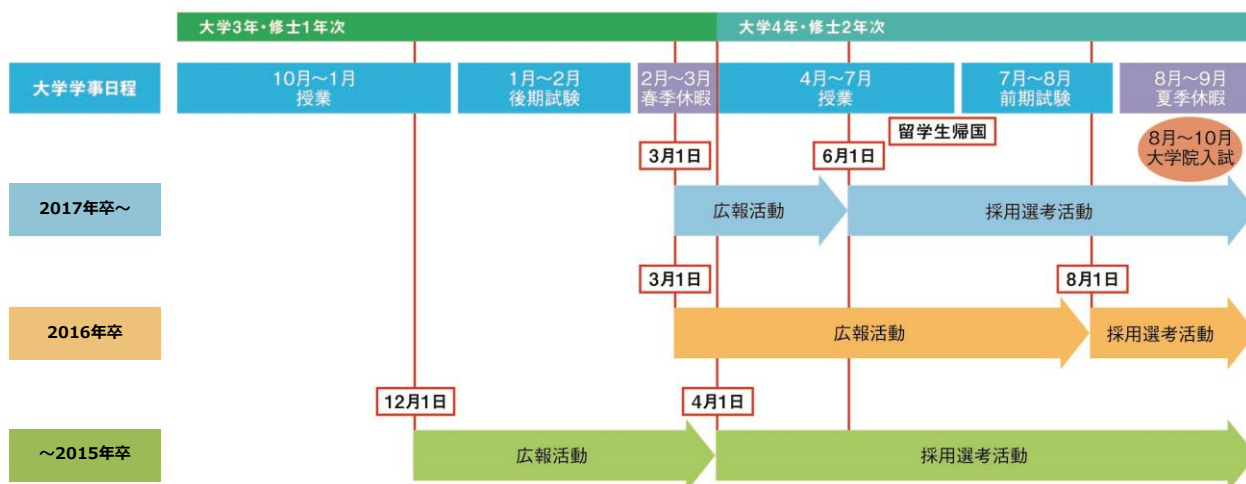
- 2016年卒業予定、2017年卒業予定、2018年卒業予定を、それぞれ「2016年卒」「2017年卒」「2018年卒」と表記
- グラフおよび表組の「各月1日」は「各月1日時点」の「時点」を省略

採用・就職活動のスケジュール変更について

日本の採用・就職活動は、日本経済団体連合会(経団連)の定めた「採用選考に関する企業の倫理憲章(倫理憲章)」が一つの目安となり行われている。2013年9月、経団連は、政府の閣議決定「日本再興戦略(※)」を受け、「採用選考に関する指針」を発表。2016年卒学生採用の広報活動、採用選考活動の開始時期を、2015年卒学生採用からそれぞれ3カ月、4カ月繰り下げた。しかし、2015年卒学生と同様のスケジュールで選考を行った企業もあり、結果として内定辞退の増加、採用・就職活動の長期化など、企業・学生ともに混乱が生じた。そのため、企業、大学、政府での協議を踏まえ、2017年卒学生向けの「採用に関する指針」では、選考開始時期が2カ月繰り上げられ6月と発表された。2015年卒学生、2016年卒学生、2017年卒学生の3年連続での、採用・就職活動スケジュールの変更は以下の変遷となっている。

※ 2013年6月決定。学修時間の確保、留学等の促進を目的とし、就職・採用活動の開始時期変更に関及。

■採用・就職活動のスケジュール変更



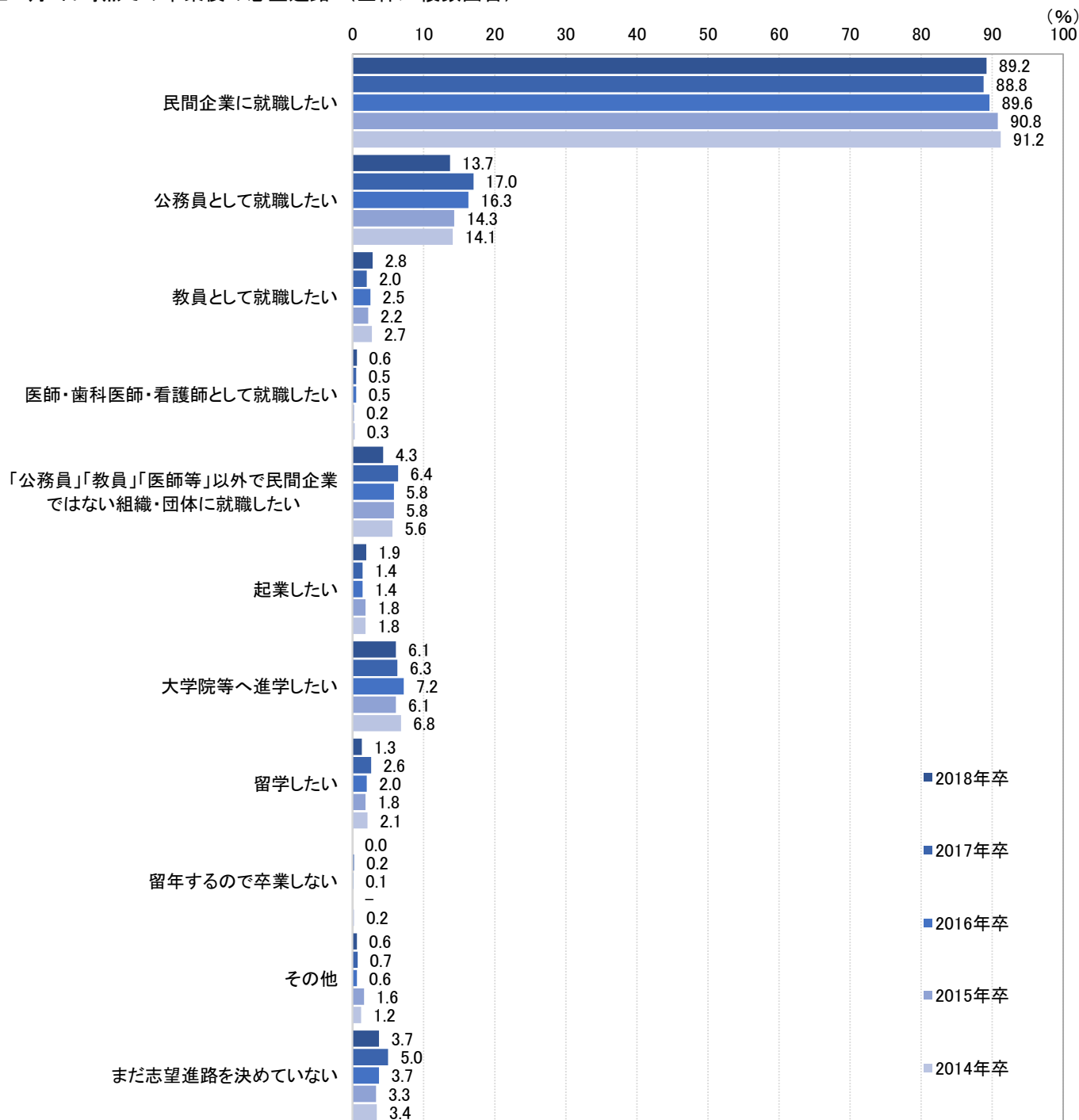
広報活動：企業や就職情報サイトでの「採用情報の提供」「プレエントリー受付」や、会社説明会など採用を目的とした活動を指す
採用選考活動：面接などの、一定の基準に照らし学生を選抜することを目的とした活動を指す

第1章 就職活動、内定、進路確定に関する状況

【1】3月1日時点での卒業後の志望進路

- 大学生の3月1日時点での卒業後の志望進路は、「民間企業に就職したい」が例年9割前後で推移している。
- 回答者1人あたりの平均志望進路数は、2014年卒から2017年卒では1.30前後で推移したが、2018年卒は1.25と若干減少した。

■ 3月1日時点での卒業後の志望進路（全体／複数回答）



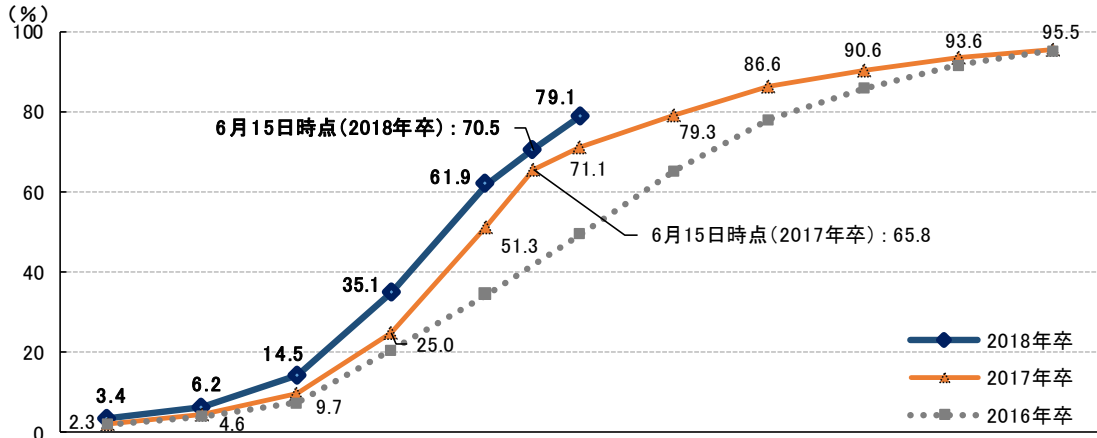
※回答者1人あたりの平均志望進路数（志望進路有／複数回答）

2018年卒	2017年卒	2016年卒	2015年卒	2014年卒
1.25	1.32	1.31	1.29	1.30

【2】就職内定率、就職活動実施率

- 2018年卒学生の就職内定率は4月1日時点から6月1日時点の間に47.4ポイント上昇し、選考開始月の6月1日時点で61.9%であった。その後も上昇し、7月1日時点では79.1%であった。
- 2017年卒学生の就職内定率は4月1日時点から6月1日時点の間に41.6ポイント上昇し、選考開始月の6月1日時点で51.3%であった。その後も上昇し、7月1日時点では71.1%であった。

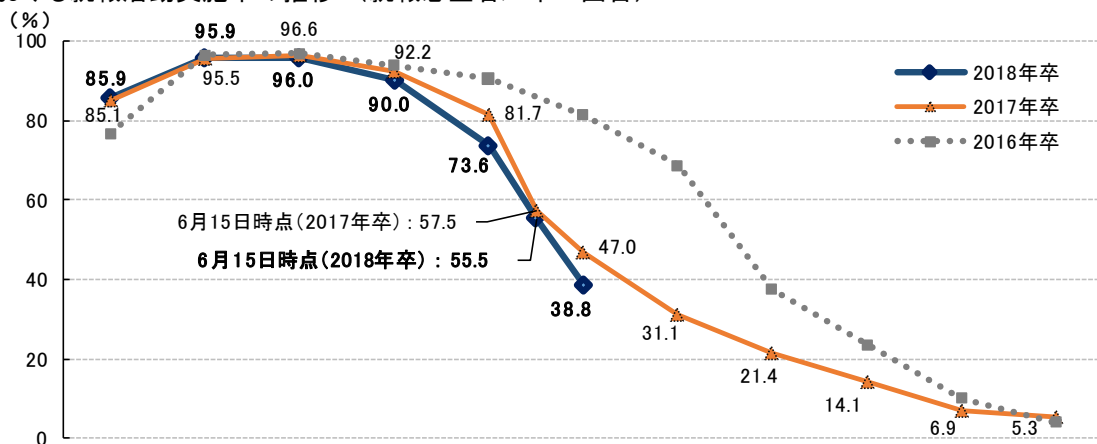
■ 就職志望者における就職内定率の推移（就職志望者/単一回答）



	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業	
全体	2018年卒	3.4%	6.2%	14.5%	35.1%	61.9%	79.1%					
	2017年卒	2.3%	4.6%	9.7%	25.0%	51.3%	71.1%	79.3%	86.6%	90.6%	93.6%	95.5%
	2016年卒	2.1%	4.1%	7.5%	20.7%	34.5%	49.6%	65.3%	78.1%	85.9%	91.6%	95.3%
	前回差		2.8	8.3	20.6	26.8	17.2					
	前年同月差	1.1	1.6	4.8	10.1	10.6	8.0					

- 2018年卒学生の就職活動実施率は、3月1日時点から5月1日時点まで9割以上で推移した。その後、選考開始日である6月1日時点から6月15日時点にかけて18.1ポイント低下し、55.5%となった。7月1日時点では38.8%となった。
- 2017年卒学生の就職活動実施率は、3月1日時点から5月1日時点まで9割以上で推移した。その後、選考開始日である6月1日時点から6月15日時点にかけて24.2ポイント低下し、57.5%となった。7月1日時点では47.0%となった。

■ 就職志望者における就職活動実施率の推移（就職志望者/単一回答）



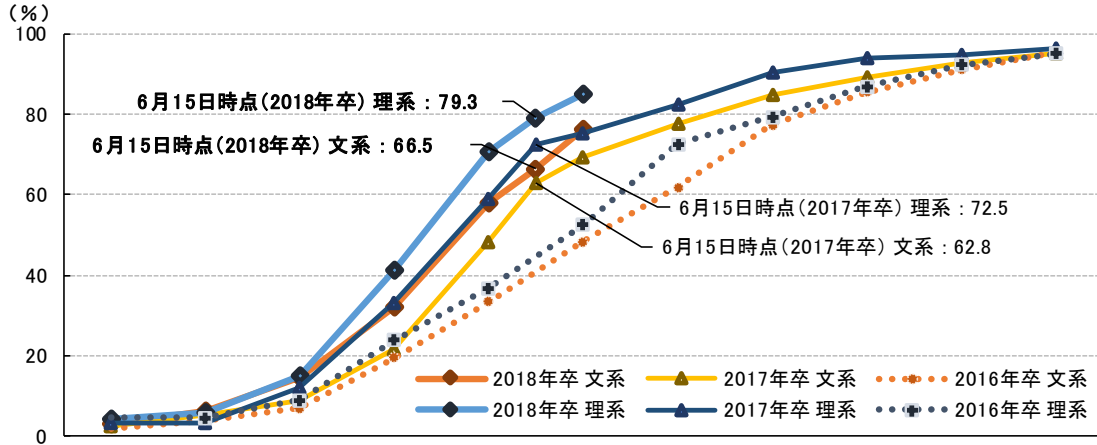
	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業	
全体	2018年卒	85.9%	95.9%	96.0%	90.0%	73.6%	38.8%					
	2017年卒	85.1%	95.5%	96.6%	92.2%	81.7%	47.0%	31.1%	21.4%	14.1%	6.9%	5.3%
	2016年卒	76.7%	96.5%	97.0%	93.9%	90.4%	81.5%	68.7%	37.5%	23.7%	10.2%	4.1%
	前回差		10.0	0.1	-6.0	-16.4	-34.8					
	前年同月差	0.8	0.4	-0.6	-2.2	-8.1	-8.2					

＜就職志望者における内定率の推移 属性別データ＞

□ 文系・理系別

- 2018年卒学生の就職内定率を文系・理系別で見ると、4月1日時点までの間、文系・理系の差が小さかったが、5月1日時点で文系32.2%、理系41.2%と9.0ポイントの差がついた。6月1日時点、6月15日時点では10.0ポイント程度の差が見られ、7月1日時点では、文系76.4%、理系85.2%であった。

■ 就職志望者における就職内定率の推移 文系・理系別 (就職志望者/単一回答)

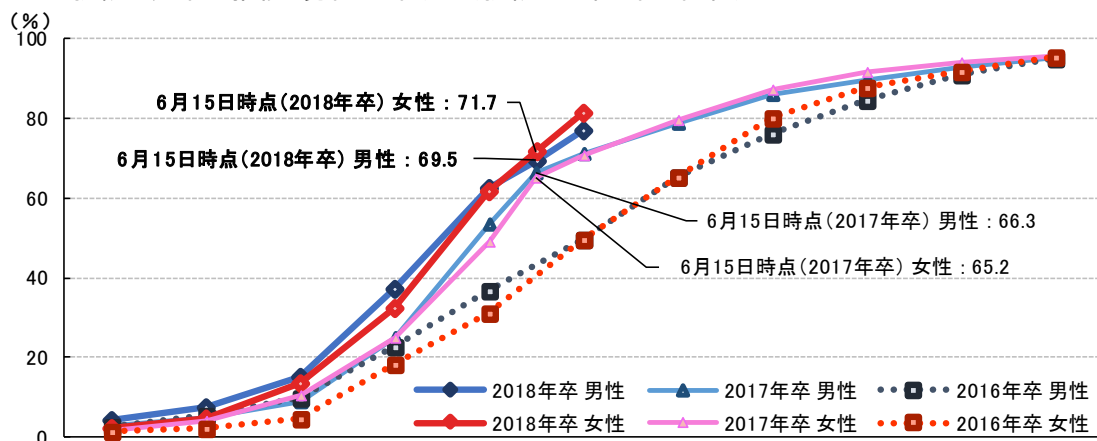


		2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
文系	2018年卒	2.9%	6.3%	14.4%	32.2%	57.8%	76.4%					
	2017年卒	2.2%	5.3%	8.7%	21.3%	48.0%	69.2%	77.7%	84.8%	89.1%	93.0%	95.1%
	2016年卒	1.8%	3.9%	6.9%	19.4%	33.3%	48.3%	61.8%	77.4%	85.5%	91.2%	95.5%
理系	2018年卒	4.3%	5.8%	15.0%	41.2%	70.8%	85.2%					
	2017年卒	2.7%	3.2%	11.9%	33.2%	58.9%	75.4%	82.6%	90.5%	93.9%	94.8%	96.3%
	2016年卒	2.8%	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%	87.0%	92.3%	95.1%

□ 男性・女性別

- 2018年卒学生を男性・女性別で見ると、4月1日時点までほぼ同率であったが、5月1日時点では男性の内定率の方が高くなり、6月1日時点では再び同水準となった。その後7月1日時点では、女性の内定率の方が高くなった。

■ 就職志望者における就職内定率の推移 男性・女性別 (就職志望者/単一回答)

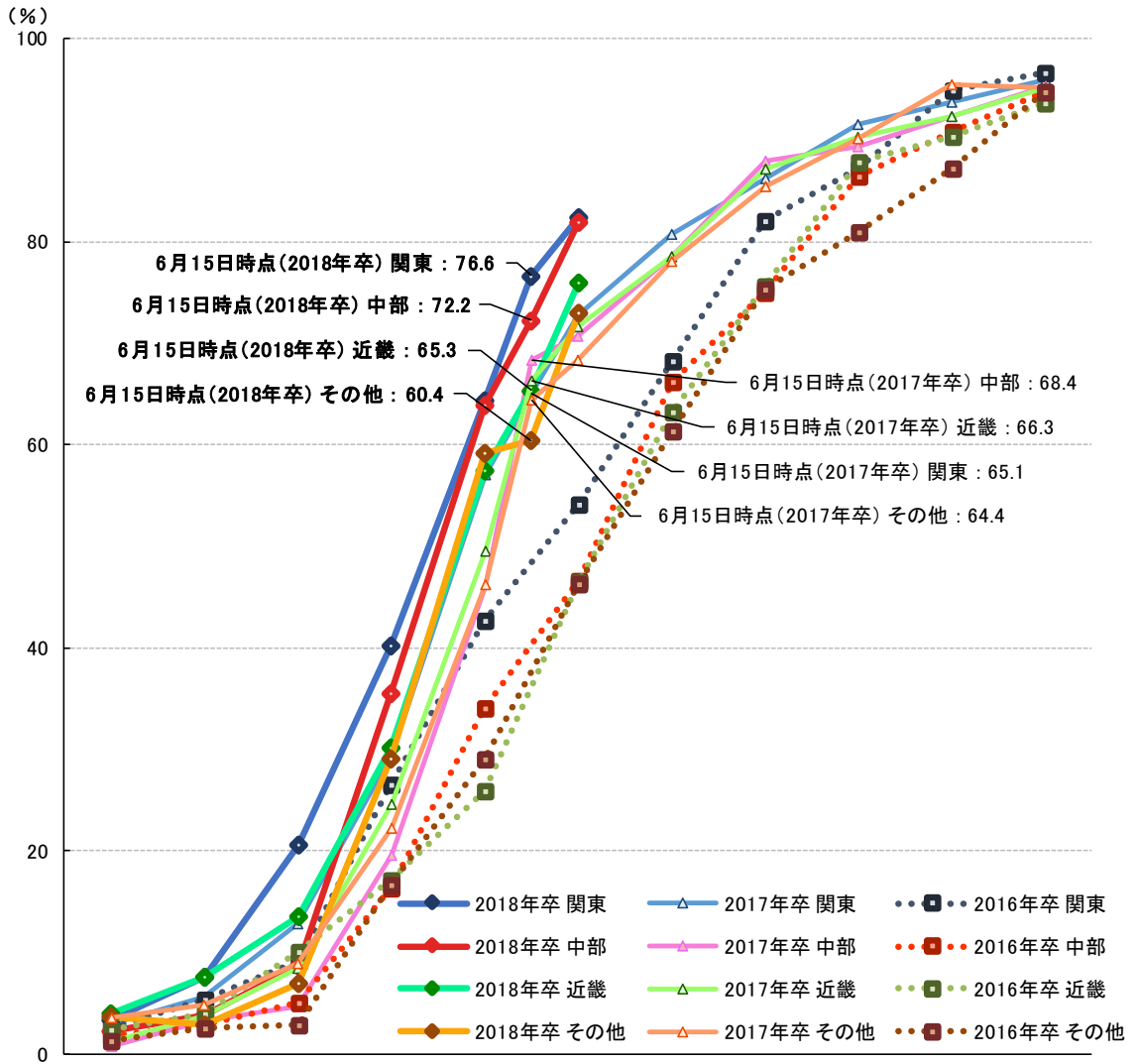


		2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
男性	2018年卒	4.2%	7.6%	15.3%	37.1%	62.6%	77.2%					
	2017年卒	2.9%	5.0%	9.0%	25.1%	53.4%	71.3%	78.8%	86.0%	89.8%	93.0%	95.2%
	2016年卒	2.7%	5.6%	9.7%	22.6%	36.9%	49.5%	65.3%	76.4%	84.6%	91.3%	95.2%
女性	2018年卒	2.3%	4.5%	13.6%	32.6%	61.6%	81.5%					
	2017年卒	1.7%	4.1%	10.5%	24.9%	48.9%	70.9%	79.8%	87.2%	91.6%	94.2%	95.9%
	2016年卒	1.3%	2.3%	4.8%	18.4%	31.4%	49.7%	65.3%	80.1%	87.7%	91.9%	95.5%

□ 地域別

● 2018年卒学生を地域別に見ると、4月1日時点から5月1日時点までは関東のみが他の地域と比べて高い水準で推移していたが、6月1日時点と7月1日時点では関東と中部が同水準となり、その他の地域に比べ高い水準となっている。

■ 就職志望者における就職内定率の推移 地域別（就職志望者/単一回答）



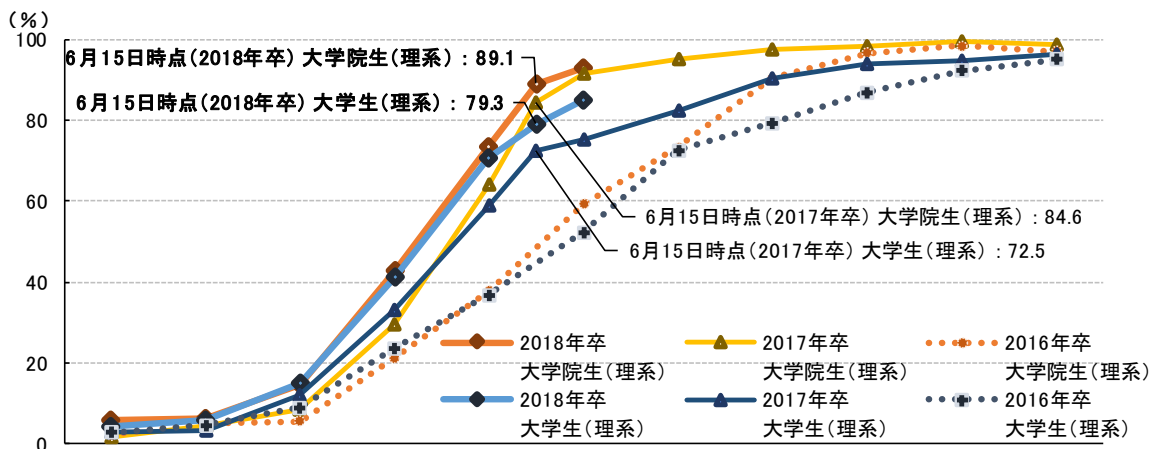
		2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
関東	2018年卒	3.4%	7.6%	20.6%	40.2%	64.4%	82.4%					
	2017年卒	3.0%	5.6%	12.8%	29.4%	57.1%	72.7%	80.8%	86.2%	91.5%	93.8%	96.0%
	2016年卒	2.5%	5.4%	9.2%	26.5%	42.7%	54.1%	68.3%	82.0%	87.3%	95.0%	96.7%
中部	2018年卒	2.2%	3.8%	8.7%	35.5%	63.9%	81.9%					
	2017年卒	0.7%	3.2%	4.6%	19.5%	46.1%	70.7%	78.5%	87.9%	89.4%	92.3%	95.3%
	2016年卒	1.7%	2.8%	5.0%	16.4%	34.0%	46.7%	66.3%	75.0%	86.4%	90.9%	94.8%
近畿	2018年卒	3.9%	7.6%	13.5%	30.1%	57.5%	75.9%					
	2017年卒	1.3%	3.7%	8.4%	24.6%	49.6%	71.6%	78.5%	87.2%	90.3%	92.4%	95.2%
	2016年卒	2.4%	4.0%	10.1%	17.2%	26.0%	46.5%	63.2%	75.6%	87.9%	90.3%	93.6%
地域の計他	2018年卒	3.7%	2.9%	7.0%	29.1%	59.2%	72.9%					
	2017年卒	3.5%	4.9%	8.9%	22.2%	46.3%	68.4%	78.0%	85.5%	90.1%	95.5%	95.1%
	2016年卒	1.3%	2.5%	2.9%	16.7%	29.0%	46.3%	61.4%	75.4%	80.9%	87.2%	94.8%

[参考値]

□ 大学院生(理系)

● 2018年卒の大学院生(理系)の内定率は、4月1日時点から6月1日時点までは大学生(理系)よりやや高い水準で推移したが、6月15日時点で差が拡大し、7月1日時点では93.2%と大学生(理系)より8.0ポイント高くなっている。

■ 就職志望者における就職内定率の推移 大学院生理系・大学生理系別 (就職志望者/単一回答)

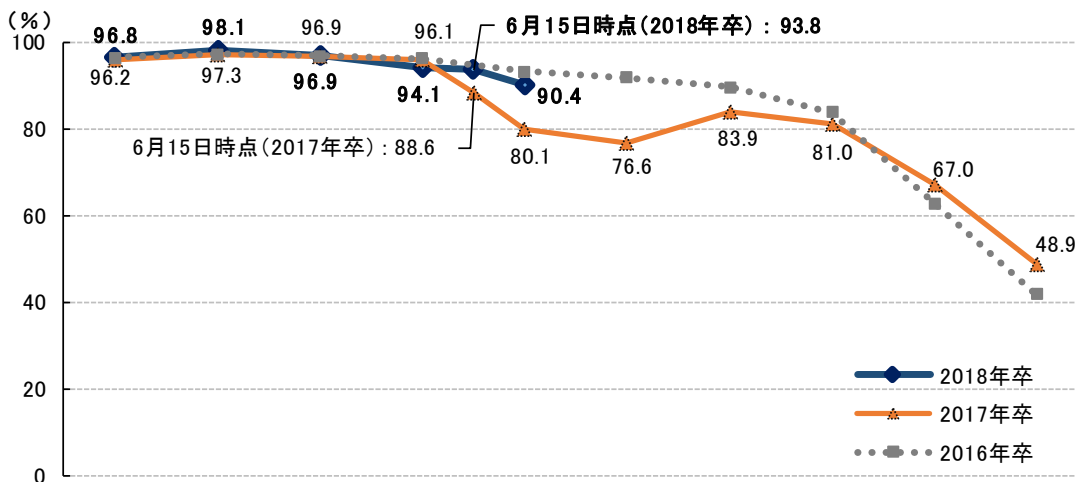


		2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
大(理 学院 生)	2018年卒	5.9%	6.4%	14.6%	42.9%	73.5%	93.2%					
	2017年卒	1.8%	4.3%	8.6%	29.4%	64.3%	91.6%	95.2%	97.6%	98.6%	99.5%	98.7%
	2016年卒	2.1%	5.0%	5.5%	21.2%	37.9%	59.3%	73.5%	90.6%	96.8%	98.5%	97.1%
大(理 系 再 掲 生)	2018年卒	4.3%	5.8%	15.0%	41.2%	70.8%	85.2%					
	2017年卒	2.7%	3.2%	11.9%	33.2%	58.9%	75.4%	82.6%	90.5%	93.9%	94.8%	96.3%
	2016年卒	2.8%	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%	87.0%	92.3%	95.1%

【3】内定未取得者・内定取得者の就職活動実施率

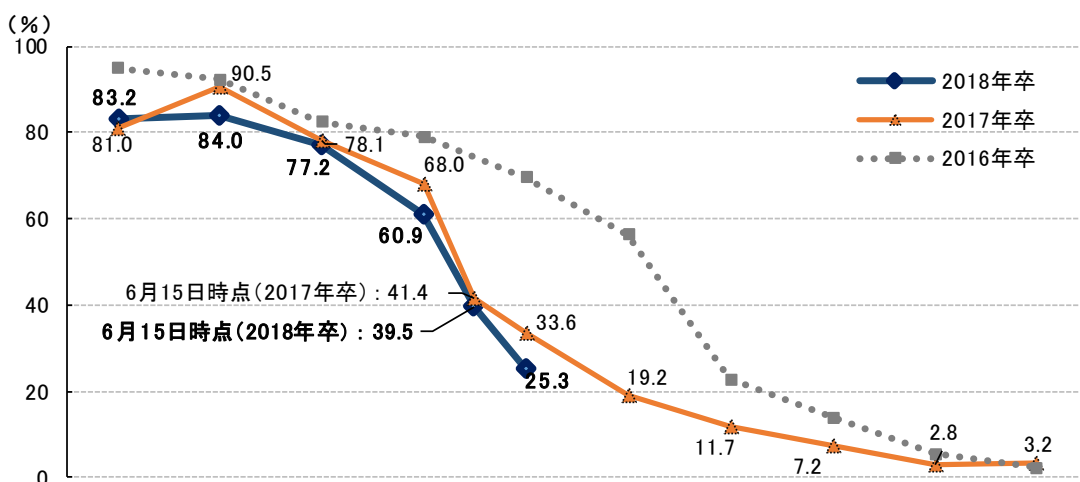
- 2018年卒学生の「内定未取得者」の就職活動実施率は、選考開始日である6月1日時点まで9割以上で推移し、7月1日時点でも90.4%であった。7月1日時点での就職活動実施率は、前年同月と比べて10.3ポイント高かった。
- 2018年卒学生の「内定取得者」の就職活動実施率を見ると、選考開始日の6月1日時点は60.9%であったが、7月1日時点では、25.3%と6月1日に比べ35.6ポイント低下し、また前年同月と比べて、8.3ポイント低かった。

■ 内定未取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定未取得者/単一回答）



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
全体	2018年卒	96.8%	98.1%	96.9%	94.1%	90.4%					
	2017年卒	96.2%	97.3%	96.9%	96.1%	80.1%	76.6%	83.9%	81.0%	67.0%	48.9%
	2016年卒	96.5%	97.4%	96.9%	96.4%	93.3%	91.9%	89.7%	83.9%	62.8%	41.8%
	前回差		1.3	-1.2	-2.8	-3.7					
	前年同月差	0.6	0.8	0.0	-2.0	10.3					

■ 内定取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定取得者/単一回答）



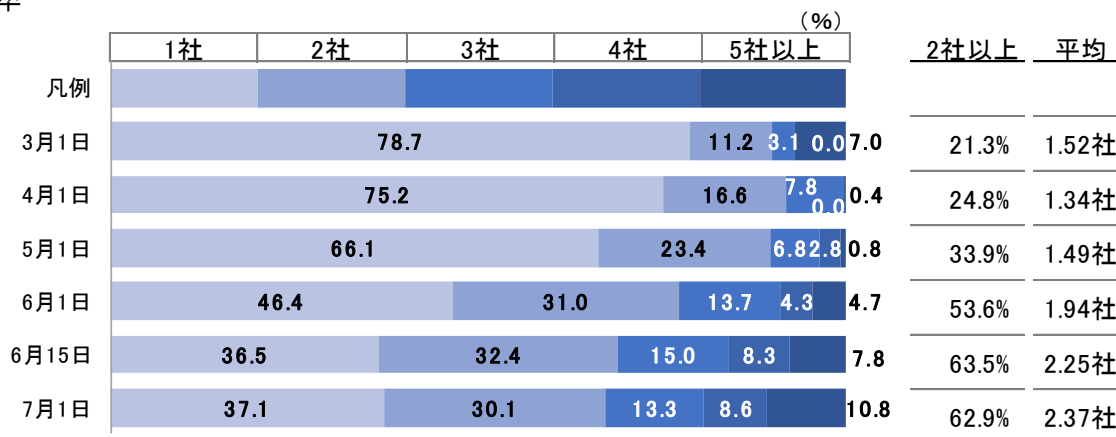
		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
全体	2018年卒	83.2%	84.0%	77.2%	60.9%	25.3%					
	2017年卒	81.0%	90.5%	78.1%	68.0%	33.6%	19.2%	11.7%	7.2%	2.8%	3.2%
	2016年卒	94.9%	92.2%	82.4%	79.1%	69.5%	56.3%	22.8%	13.9%	5.4%	2.3%
	前回差		0.8	-6.8	-16.3	-35.6					
	前年同月差	2.2	-6.5	-0.9	-7.1	-8.3					

【4】内定取得社数

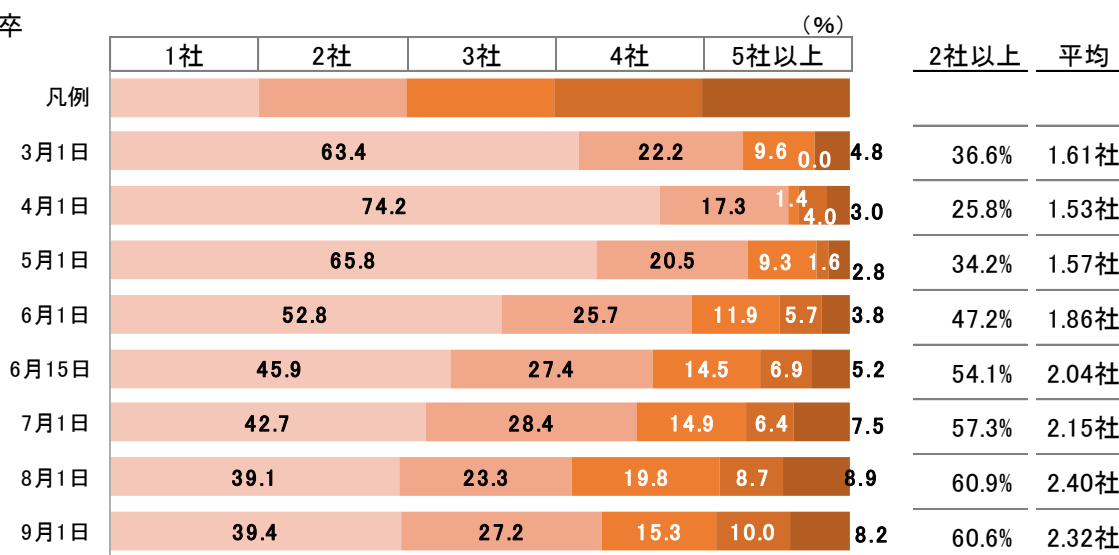
- 2018年卒学生の内定取得社数の平均値は、4月1日時点以降徐々に増加し7月1日時点で2.37社となった。複数社の内定を取得している学生の割合は、6月1日時点で5割を超え、7月1日時点では62.9%であった。
- 2017年卒学生の内定取得社数の平均値は、4月1日時点以降徐々に増加し7月1日時点で2.15社となった。複数社の内定を取得している学生の割合は、6月15日時点で5割を超え、7月1日時点では57.3%であった。

■ 内定取得社数の推移_内訳 (就職志望者・内定取得者/実数回答)

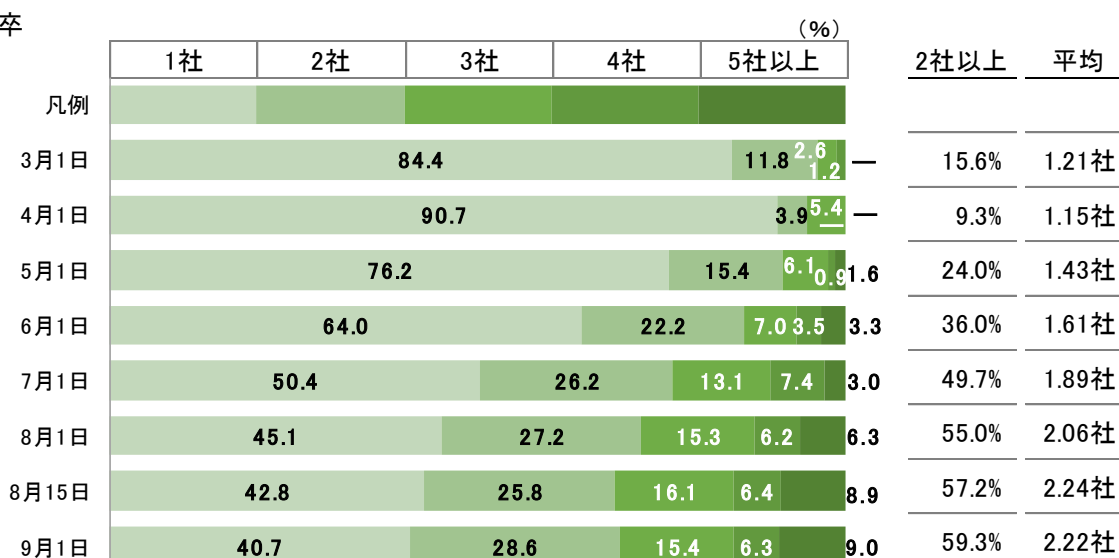
□ 2018年卒



□ 2017年卒



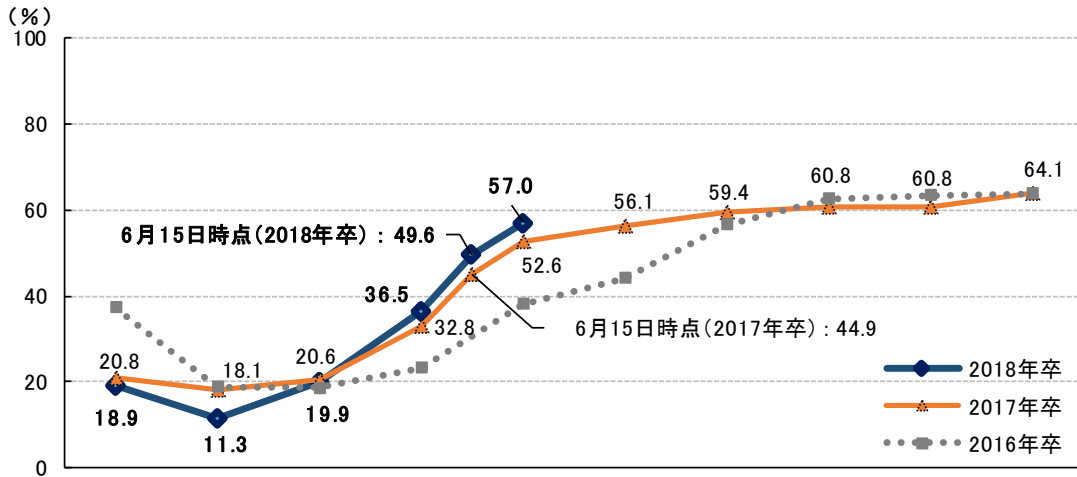
□ 2016年卒



【5】内定辞退率

- 2018年卒学生の「内定を辞退したことのある学生の割合」は、4月1日時点は11.3%、5月1日時点は19.9%で推移した。その後上昇し、選考開始日である6月1日時点で36.5%、7月1日時点では57.0%となっている。
- 2017年卒学生の「内定を辞退したことのある学生の割合」は、4月1日時点から5月1日時点までは2割前後で推移した。その後上昇し、選考開始日である6月1日時点で32.8%、7月1日時点では52.6%となっている。

■ 内定辞退率（就職志望者・内定取得者／単一回答）
 ※各時点において、内定を辞退したことのある者の割合



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
全体	2018年卒	18.9%	11.3%	19.9%	36.5%	57.0%					
	2017年卒	20.8%	18.1%	20.6%	32.8%	52.6%	56.1%	59.4%	60.8%	60.8%	64.1%
	2016年卒	37.3%	18.8%	18.5%	23.2%	38.0%	44.2%	56.7%	62.7%	63.4%	63.9%
	前回差		-7.6	8.6	16.6	20.5					
	前年同月差	-1.9	-6.8	-0.7	3.7	4.4					

■ 平均内定辞退社数（就職志望者・内定辞退者／実数回答）

		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	6月15日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
全体	2018年卒	※1.79社	※1.30社	1.43社	1.50社	1.75社	2.06社					
	2017年卒	※1.05社	※1.51社	1.30社	1.61社	1.85社	1.92社	2.09社	2.12社	2.16社	2.21社	2.21社
	2016年卒	※1.18社	1.50社	1.83社	1.46社		1.54社	1.67社	1.98社	2.03社	2.06社	2.04社
	前回差		-0.49	0.13	0.07	0.25	0.31					
	前年同月差	0.74	-0.21	0.13	-0.11	-0.10	0.14					

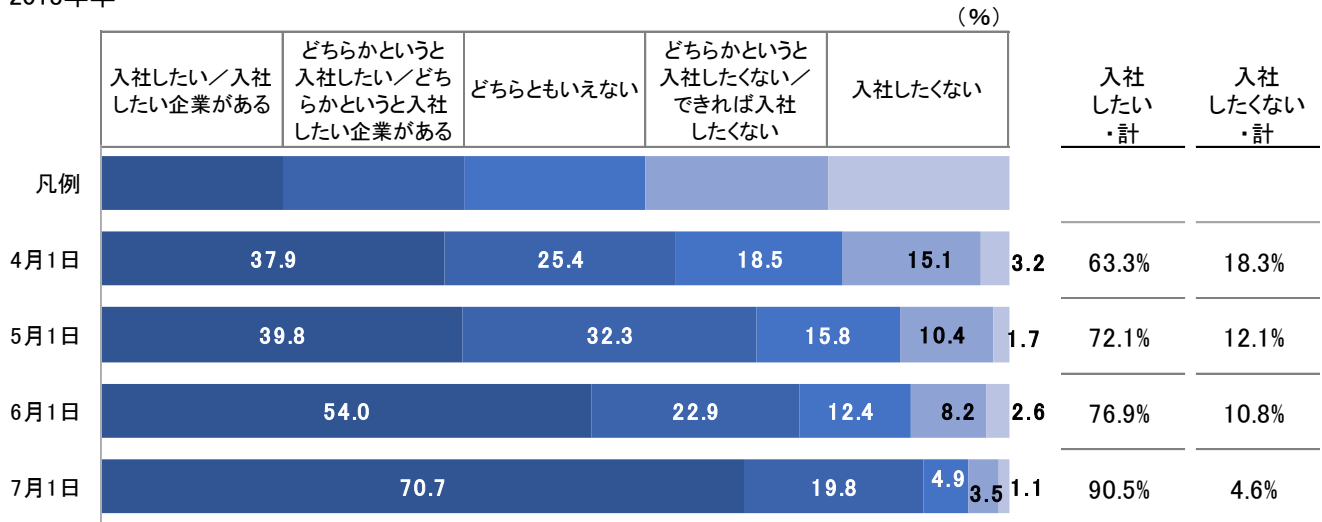
注)※が付いているものは、回答数が少ないため、参考として掲載

【6】内定先企業への入社意向

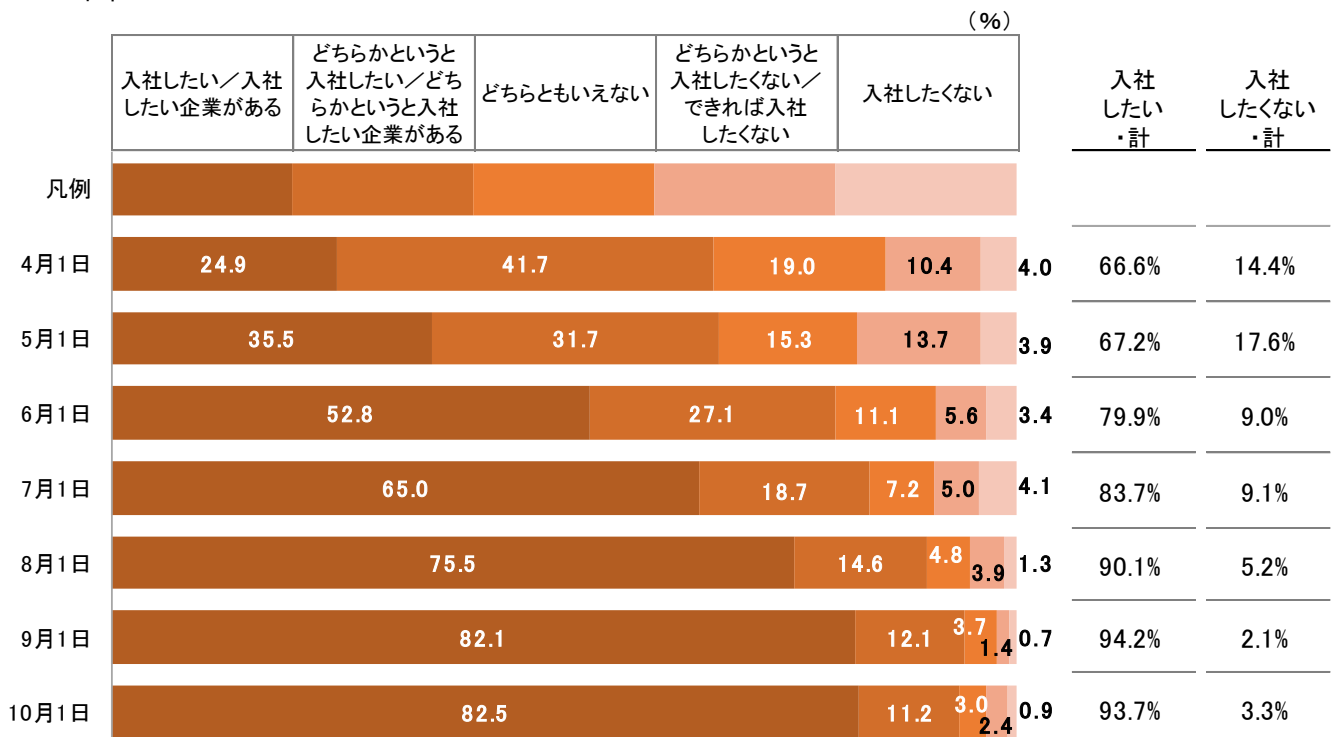
● 2018年卒学生の内定先企業への入社意向を尋ねた結果、「入社したい／入社したい企業がある」と答えた学生は、4月1日時点で37.9%、「どちらかというに入社したい／どちらかというに入社したい企業がある」を加えた「入社したい・計」は63.3%であった。その後入社意向を示す学生の割合は徐々に高まり、7月1日時点で「入社したい／入社したい企業がある」は70.7%、「入社したい・計」は90.5%であった。

■ 内定先企業への入社意向（就職志望者、1社以上内定保有者／単一回答）

□ 2018年卒



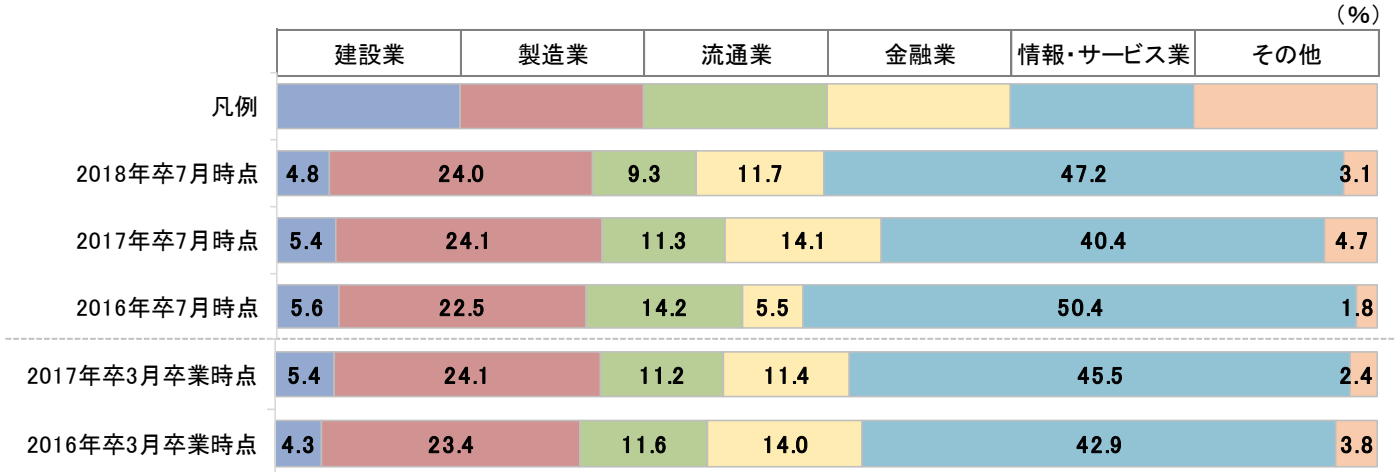
□ 2017年卒



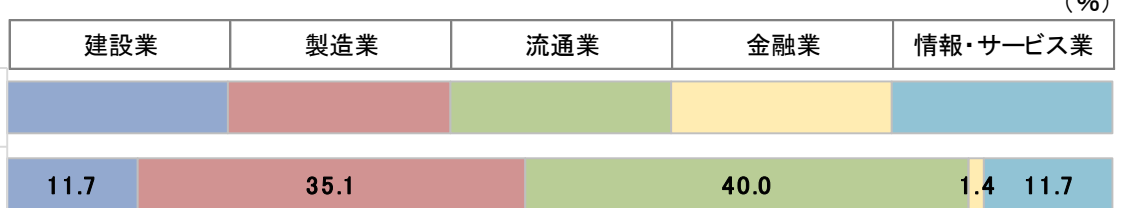
【7】7月1日時点での就職確定先業種、従業員規模

- 2018年卒学生の7月1日時点での就職確定先業種は、「情報・サービス業」が47.2%と最も多く、次いで「製造業」が24.0%であった。
- 2018年卒学生の7月1日時点での就職確定先従業員規模は、「1000～4999人」が29.1%で最も多く、次いで「300人未満」が18.6%であった。2016年卒から2018年卒では、「5000人以上」の割合が年々高くなっている。

■ 7月1日時点での就職確定先業種（民間企業への就職先確定者／単一回答）

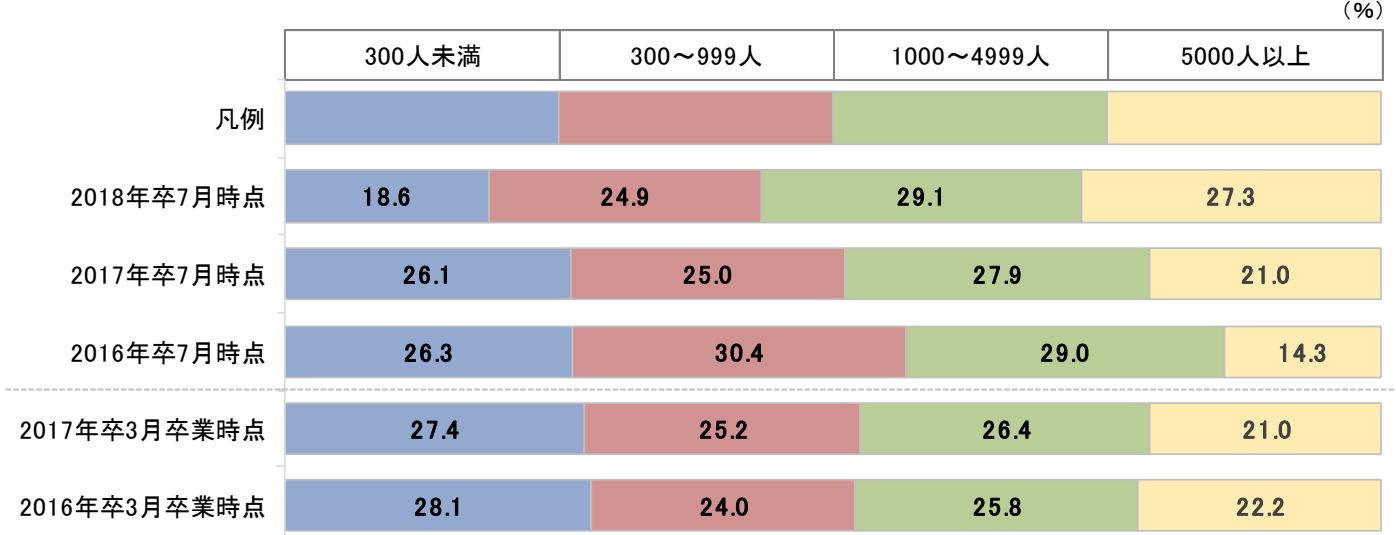


(参考)大卒求人総数における業種別構成比

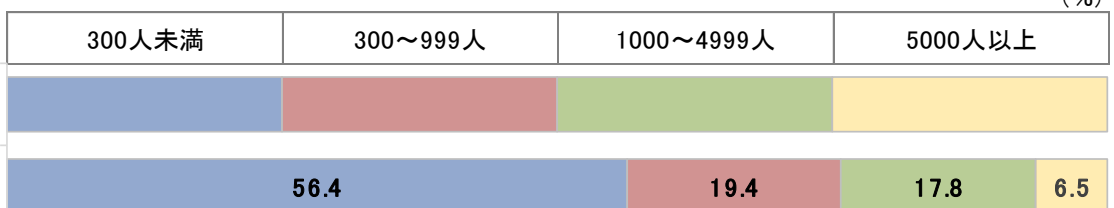


●リクルートワークス研究所『第34回 ワークス大卒求人倍率調査』をもとに作成。
 ※民間企業の求人総数755,100人に占める、業種別の割合を表示。

■ 7月1日時点での就職確定先従業員規模（民間企業への就職先確定者／単一回答）



(参考)大卒求人総数における従業員規模別構成比

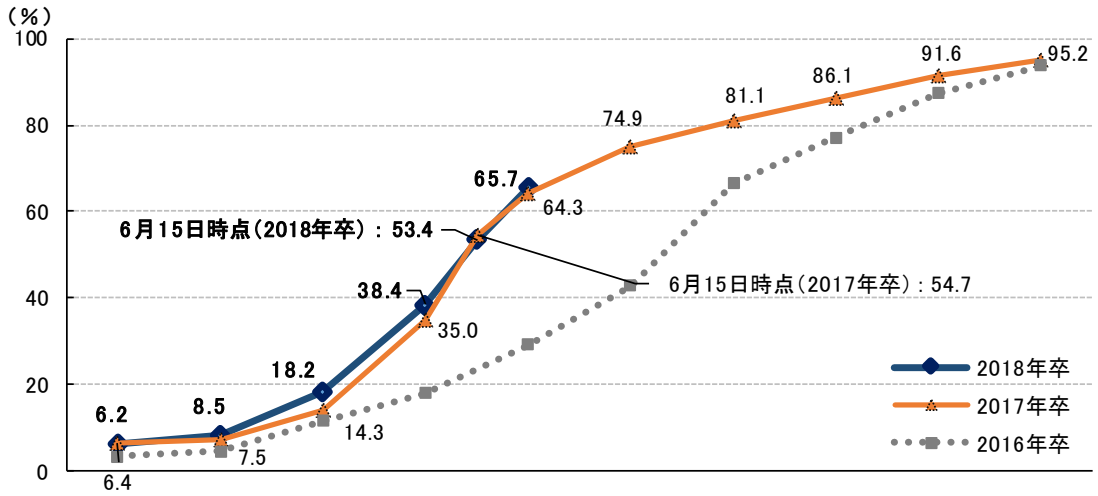


●リクルートワークス研究所『第34回 ワークス大卒求人倍率調査』をもとに作成。
 ※民間企業の求人総数755,100人に占める、従業員規模別の割合を表示。

【8】進路確定率、7月1日時点での進路確定状況

● 2018年卒学生の進路確定率は、5月1日時点までは緩やかに上昇したが、選考開始日である6月1日時点では前月より20.2ポイント高い38.4%となり、さらに7月1日時点では前月より27.3ポイント高い65.7%となった。

■ 進路確定率（全体/単一回答）



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	3月卒業
全体	2018年卒	6.2%	8.5%	18.2%	38.4%	65.7%					
	2017年卒	6.4%	7.5%	14.3%	35.0%	64.3%	74.9%	81.1%	86.1%	91.6%	95.2%
	2016年卒	3.5%	4.7%	11.6%	18.0%	29.3%	42.8%	66.4%	77.1%	87.4%	93.8%
	前回差		2.3	9.7	20.2	27.3					
	前年同月差	-0.2	1.0	3.9	3.4	1.4					

● 2018年卒学生の7月1日時点での卒業後の進路確定状況は、「民間企業」への就職先が確定している割合が61.8%と前年同月と同水準で、選考開始月が8月であった2016年卒、および、4月であった2014年卒・2015年卒よりも高かった。
 ● 「まだ確定している進路はない」は34.3%と、2014年卒以降で最も低かった。

■ 7月1日時点での進路確定状況（全体/単一回答）

	就職先が確定している (民間企業)	就職先が確定している (公務員)	就職先が確定している (教員)	就職先が確定している (医師・歯科 医師・看護師)	就職先が確定している [「公務員」「教員」「医師 等」以外で、民間企業では ない組織・団体]	起業することが確定して いる	進学先が確定している (国内の大学院、専門学 校など)	進学先が確定している (留学)	留年することが確定して いる	その他の進路が確定して いる	まだ確定して いない進路は ない
2018年卒	61.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.4%	0.1%	1.5%	0.0%	0.1%	0.3%	34.3%
2017年卒	61.8%	0.1%	0.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.8%	0.1%	0.0%	0.1%	35.7%
2016年卒	25.8%	0.3%	0.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.9%	0.1%	0.1%	0.3%	70.7%
2015年卒	48.2%	0.0%	-	-	1.3%	0.1%	1.2%	-	-	0.7%	48.5%
2014年卒	44.4%	0.2%	0.0%	0.2%	0.7%	-	0.7%	0.0%	-	0.1%	53.8%

※ 「-」は該当者なし。「0.0」は該当者は存在するが、小数点第二位で四捨五入した際に「0.0」となったもの。

第II章 就職活動プロセス、志望状況に関する状況

【1】就職活動プロセス毎の実施状況

● 2018年卒学生の、就職活動プロセス毎に実施した学生の割合を月別に見る。

(各活動プロセス毎の推移は次ページ参照)

2月: 就職活動のプロセスの中で「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」(46.9%)が最も高く、次に「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」(40.0%)が高かった。

「エントリーシートなどの書類を提出した」や「適性検査や筆記試験を受けた」は2割を超えていた。

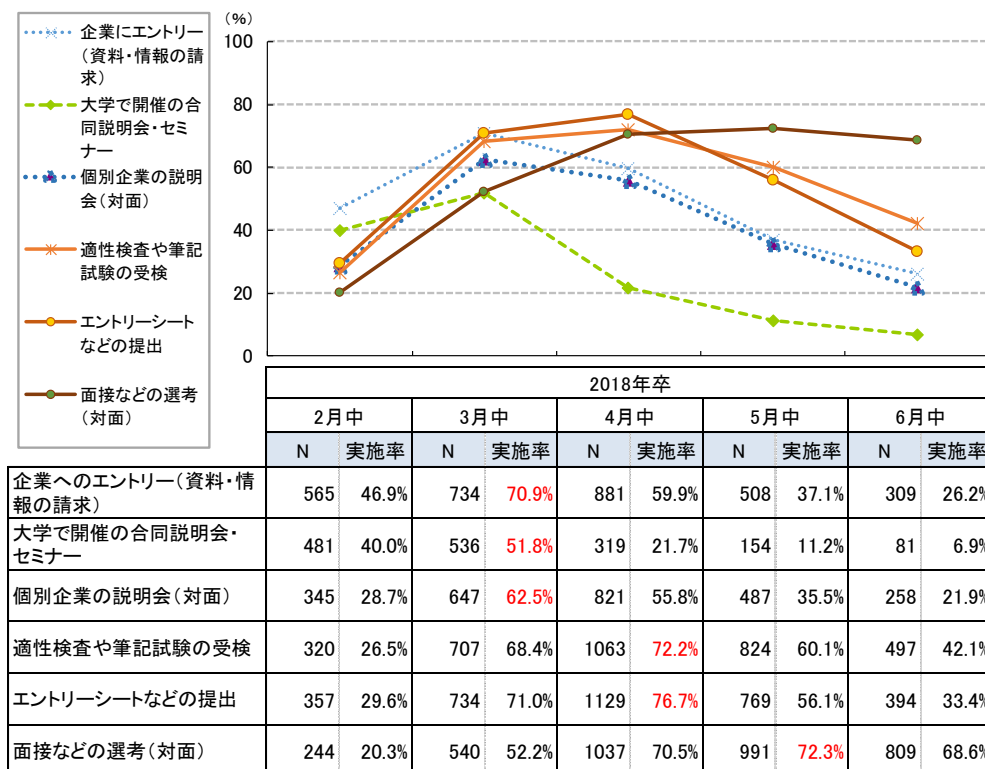
3月: 就職活動のプロセスの中で「エントリーシートなどの書類を提出した」(71.0%)が最も高く、次に「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」(70.9%)が高い。また、「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」や「面接など対面での選考を受けた」の実施率は5割を超えていた。さらに前月に比べ「適性検査や筆記試験を受けた」(68.4%)や「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した」(62.5%)が上昇している。

4月: 前月に比べ「面接など対面での選考を受けた」(70.5%)が上昇した。一方「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」(21.7%)は大きく低下した。「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」(59.9%)、「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した」(55.8%)が低下している。

5月: 前月に比べ「面接など対面での選考を受けた」(72.3%)のみが上昇し、その他の活動プロセスは低下している。

6月: 前月に比べすべての活動プロセスの実施率が低下しているが、「面接など対面での選考を受けた」は同水準の約7割が実施している。

■ 就職活動プロセス毎の実施状況 (就職活動実施者/複数回答)



※ 赤字は、各活動プロセス毎に月別で最も実施率が高いもの

※ コメントおよびグラフ・表組上では、質問内容を省略している。詳細は下記の通り

「企業へのエントリー」=「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」

「大学で開催の合同説明会・セミナー」=「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」

「個別企業の説明会(対面)」=「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した」

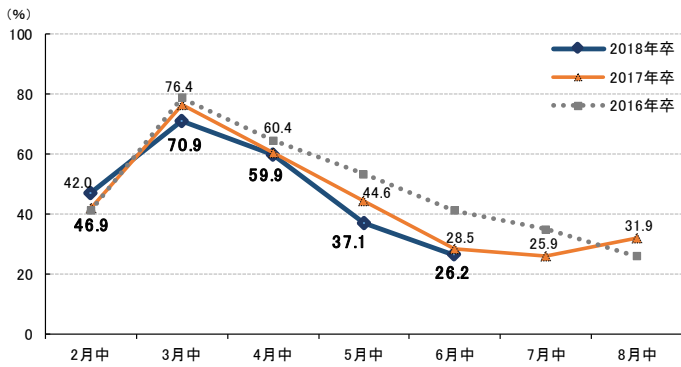
「適性検査や筆記試験の受検」=「適性検査や筆記試験を受けた」

「エントリーシートなどの提出」=「エントリーシートなどの書類を提出した」

「面接などの選考(対面)」=「面接など対面での選考を受けた」

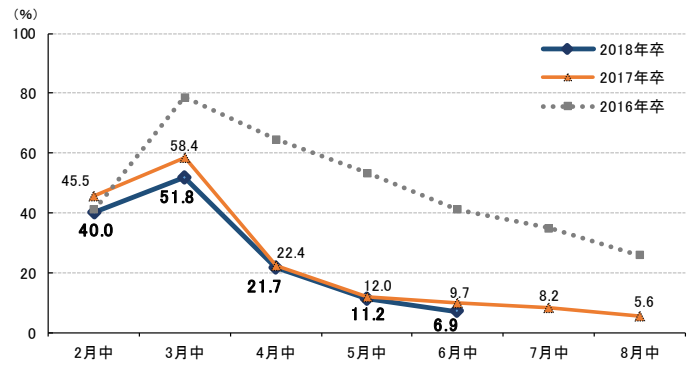
■ 各活動プロセス毎の実施者割合の推移（就職活動実施者／複数回答）
2018年卒学生について、各プロセスについてコメント

《 企業へのエントリー(資料・情報の請求) 》



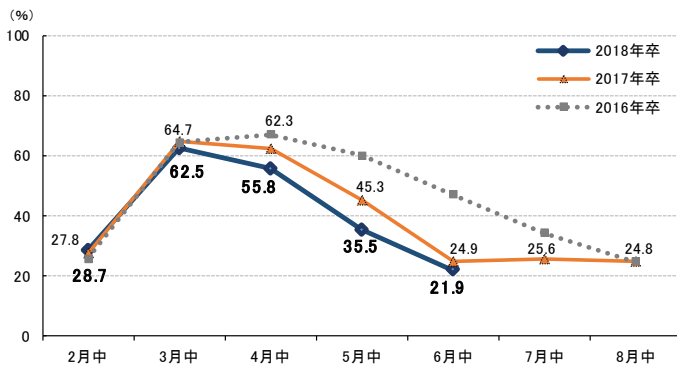
● 「企業へのエントリー(資料・情報の請求)」は、2月中のみ、2016年卒、2017年卒より高く、それ以降は低かった。

《 大学で開催の合同説明会・セミナー 》



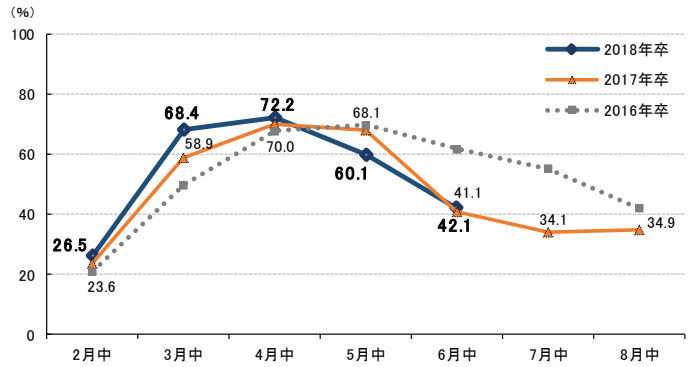
● 「大学で開催の合同説明会・セミナー」は6月中までのすべての月で、2017年卒、2016年卒よりも低かった。

《 個別企業の説明会(対面) 》



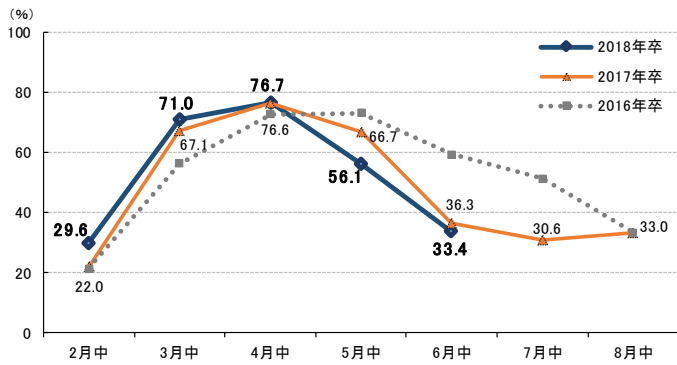
● 「個別企業の説明会(対面)」は、2月中のみ、2016年卒、2017年卒より高く、それ以降は低かった。

《 適性検査や筆記試験の受検 》



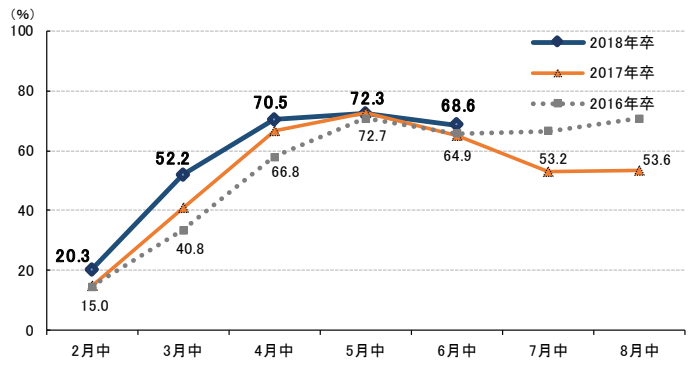
● 「適性検査や筆記試験の受検」は、4月中までは2016年卒、2017年卒より高く、5月中では低かった。

《 エントリーシートなどの提出 》



● 「エントリーシートなどの提出」は4月中までは2016年卒、2017年卒より高く、それ以降では低かった。

《 面接などの選考(対面) 》



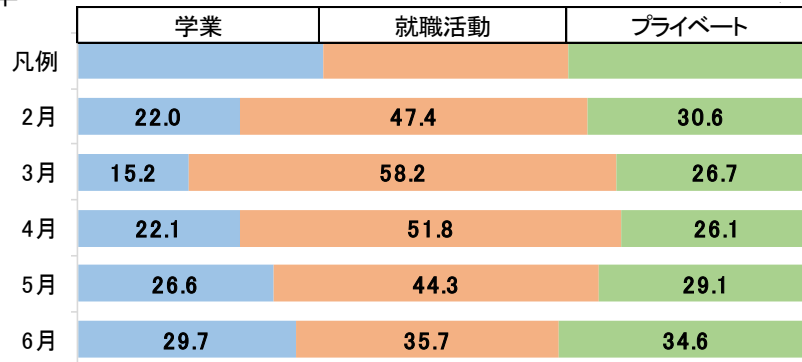
● 「面接などの選考(対面)」は、5月中を除き、2016年卒、2017年卒より高かった。

【2】「学業」「就職活動」「プライベート」の時間割合

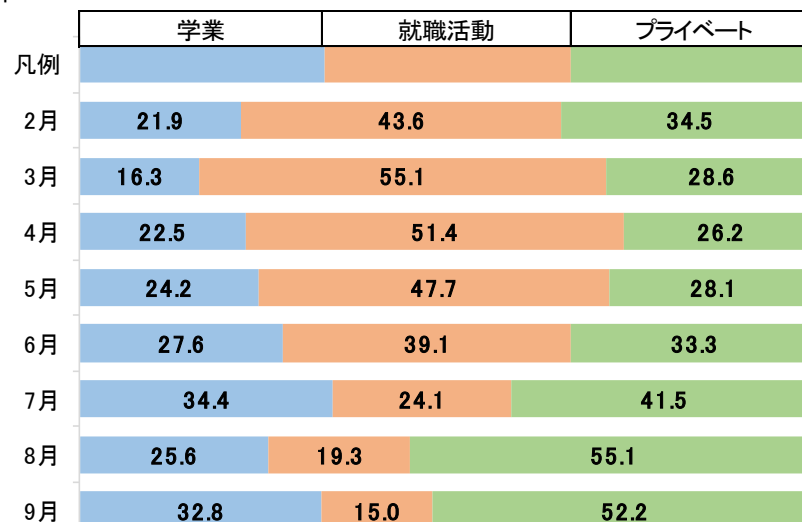
- 「就職活動」の時間割合が最も多い月は2018年卒、2017年卒、2016年卒ともに、広報活動開始月にあたる3月であった。
- 2018年卒学生における「就職活動」の割合を、2017年卒、2016年卒と比較すると、2月、3月は2018年卒学生の方が高く、4月で同程度となり、5月、6月は2017年学生の方が高かった。

■ 「学業」「就職活動」「プライベート」の時間割合（就職志望者／実数回答）

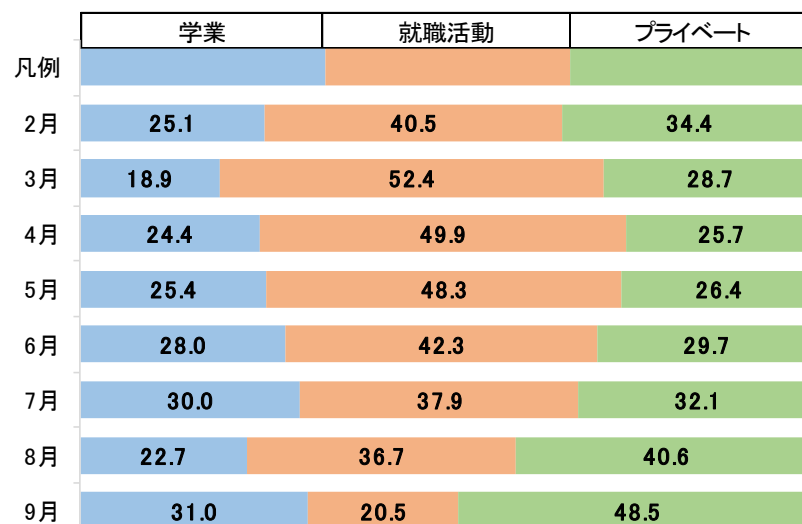
□ 2018年卒



□ 2017年卒



□ 2016年卒

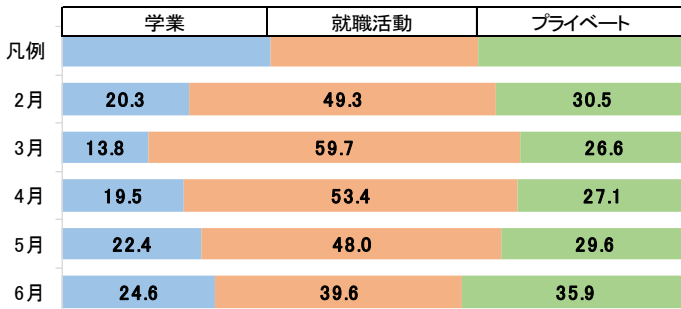


【2】(文理別)「学業」「就職活動」「プライベート」の時間割合

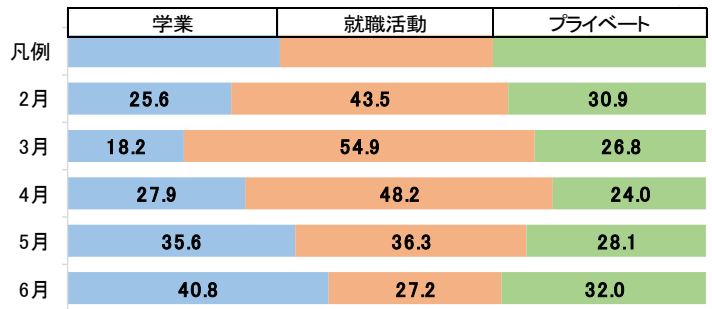
- 「学業」「就職活動」「プライベート」の時間割合を文理別に見ると、文系、理系ともに2016年卒～2018年卒のすべての年で、「就職活動」の時間割合が最も多かったのは広報活動開始月にあたる3月であった。
- 2016年卒～2018年卒のすべての年、および月において、「就職活動」の割合は文系の方が多く、「学業」の割合は理系の方が多かった。

■ 「学業」「就職活動」「プライベート」の時間割合 (就職志望者/実数回答)

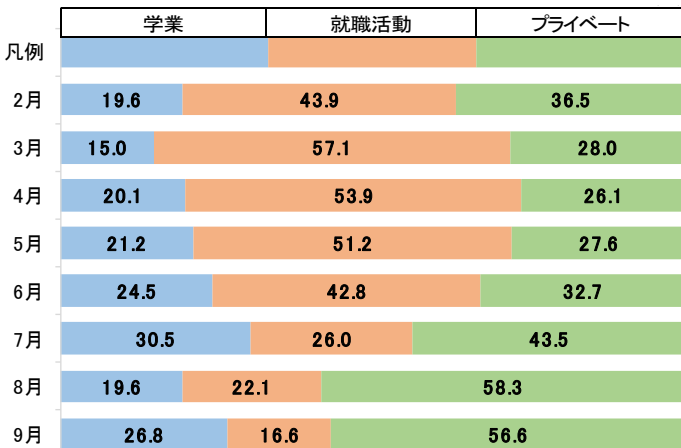
□ 2018年卒
 <文系>



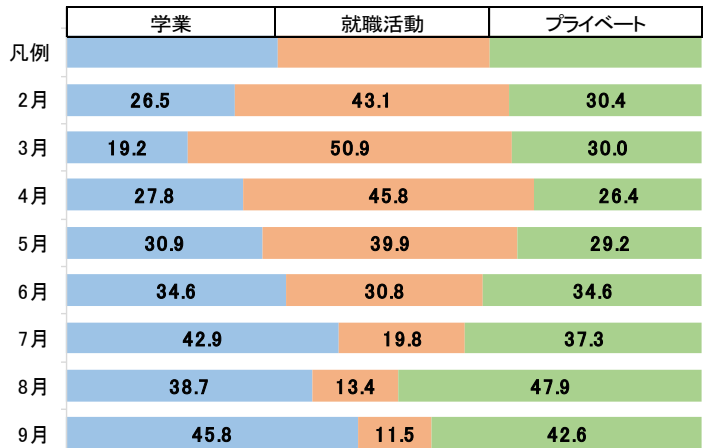
<理系>



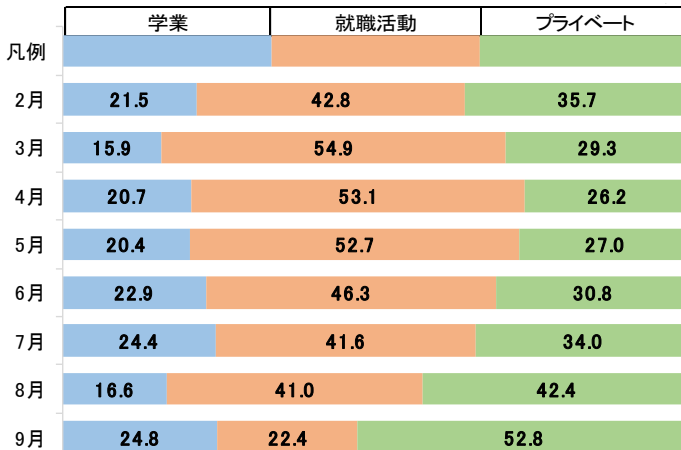
□ 2017年卒
 <文系>



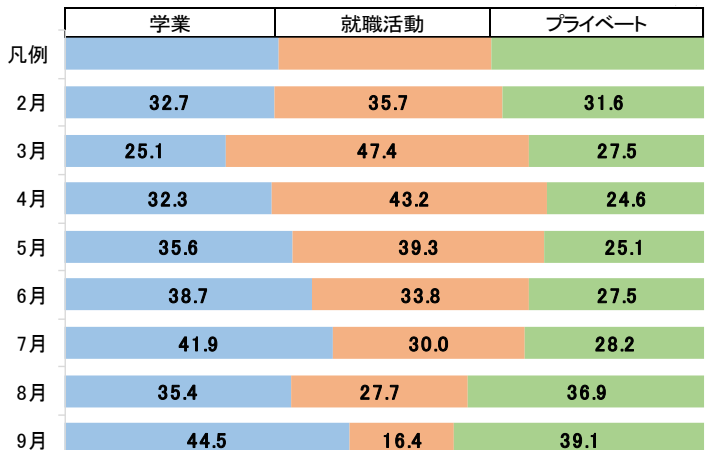
<理系>



□ 2016年卒
 <文系>



<理系>

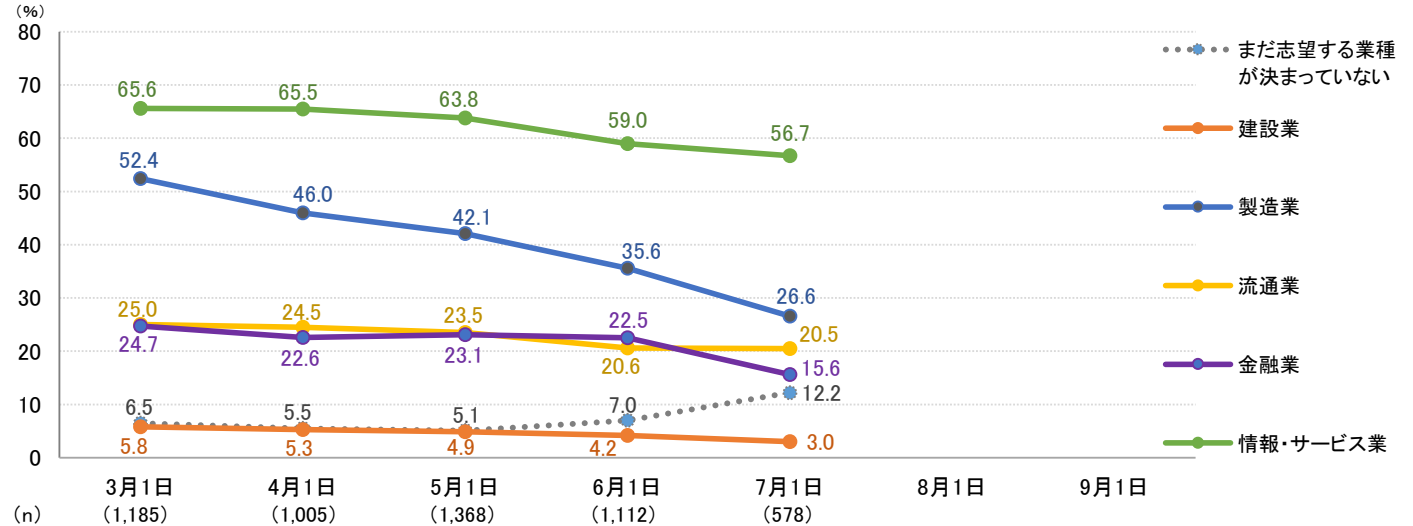


【3】就職志望状況<業種>

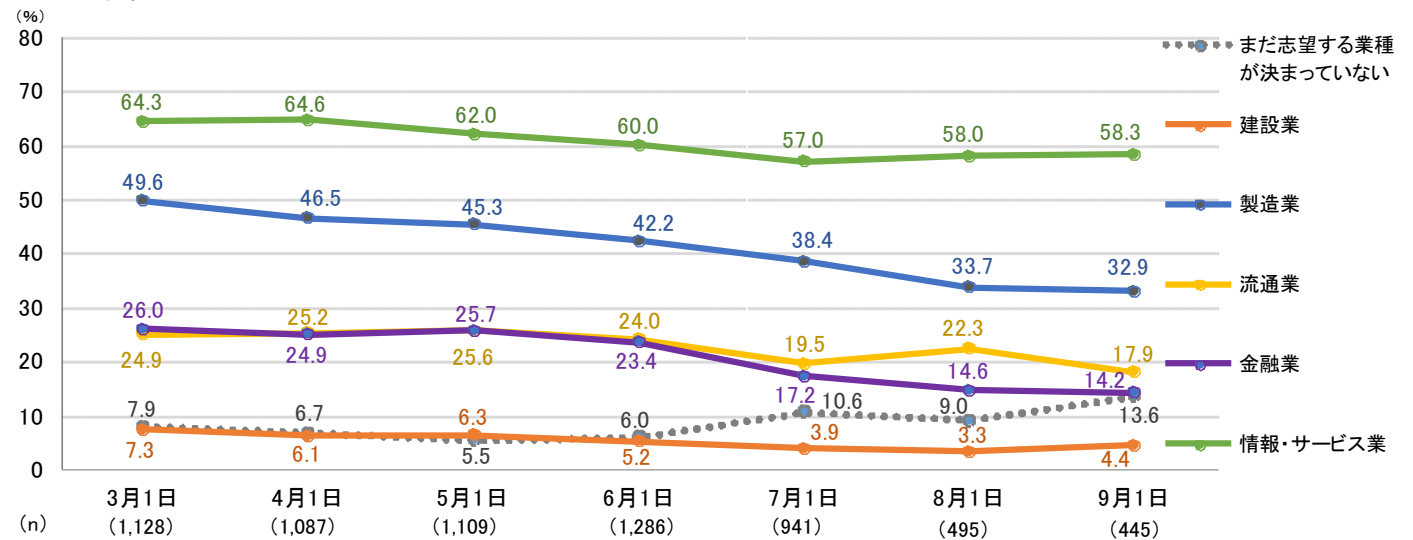
- 2018年卒学生の志望業種(複数回答)を見ると、「情報・サービス業」が最も高く、次いで「製造業」であった。選考開始月翌月の7月1日時点では、各業種を志望する学生の割合は減少したが、「まだ志望する業種が決まっていない」学生の割合が上昇した。
- どの年にも共通して、「金融業」を志望する割合は選考開始月の翌月に比較的大きく低下し、「まだ志望する業種が決まっていない」学生の割合は選考開始月の翌月以降、上昇する傾向が見られた。

■ 就職志望先 業種 (就職活動実施者/複数回答)

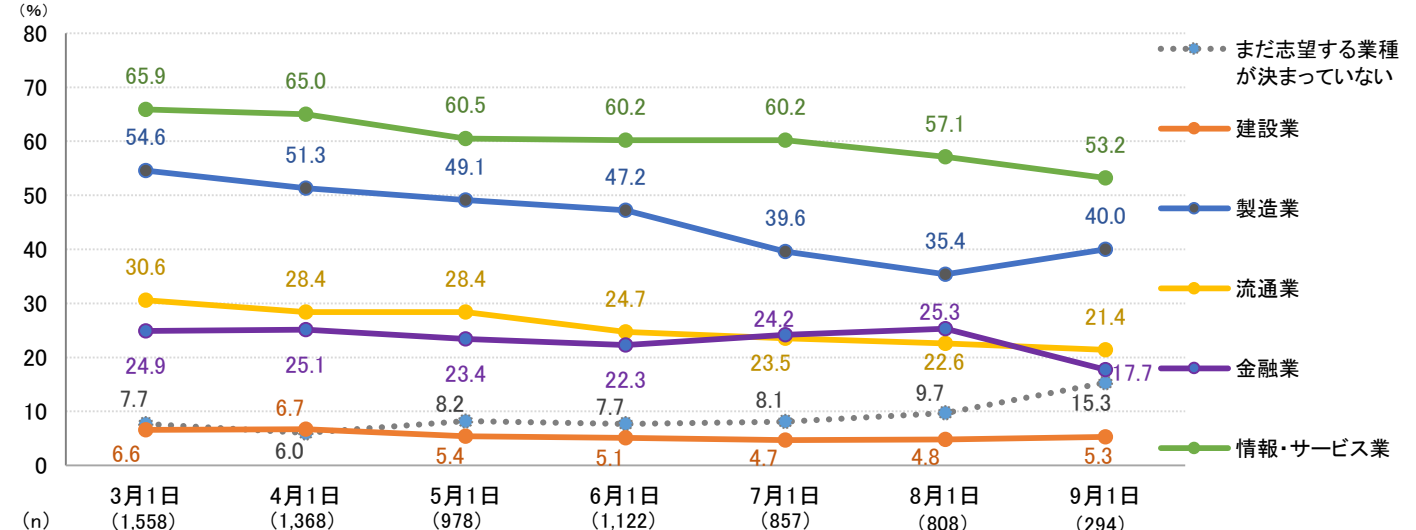
□ 2018年卒



□ 2017年卒



□ 2016年卒

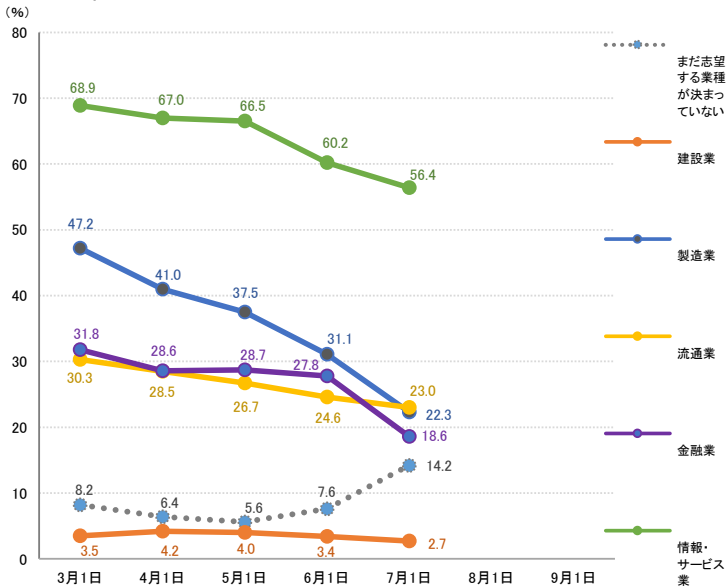


≪属性別データ≫

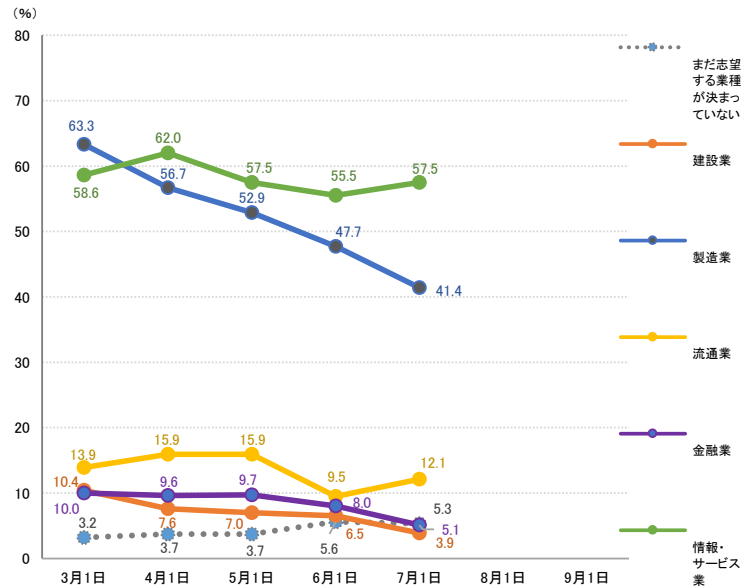
■ 就職志望先 業種 文系・理系別 (就職活動実施者/複数回答)

□ 2018年卒

<文系>

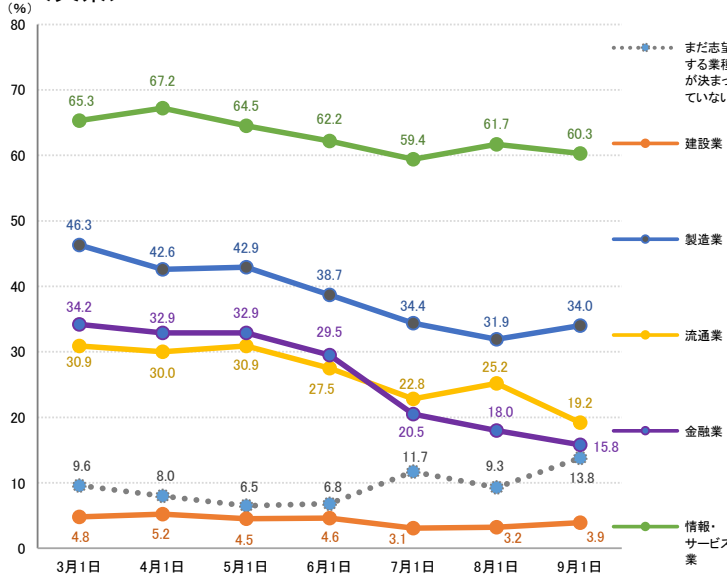


<理系>

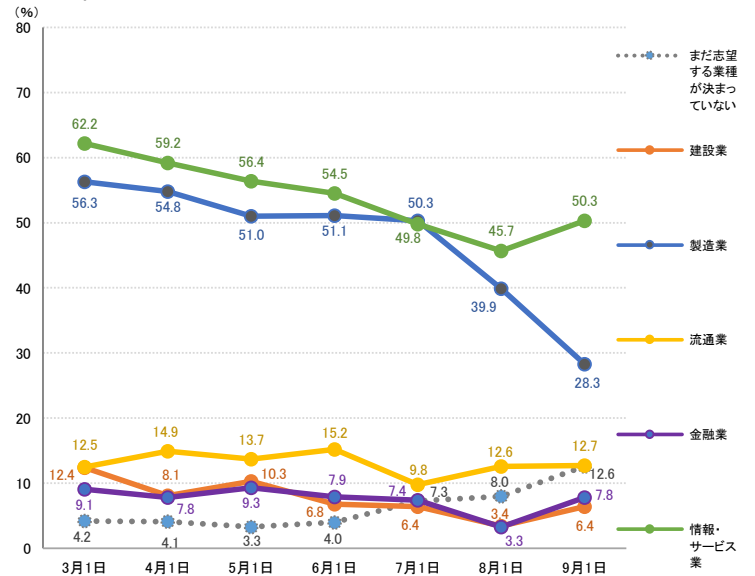


□ 2017年卒

<文系>

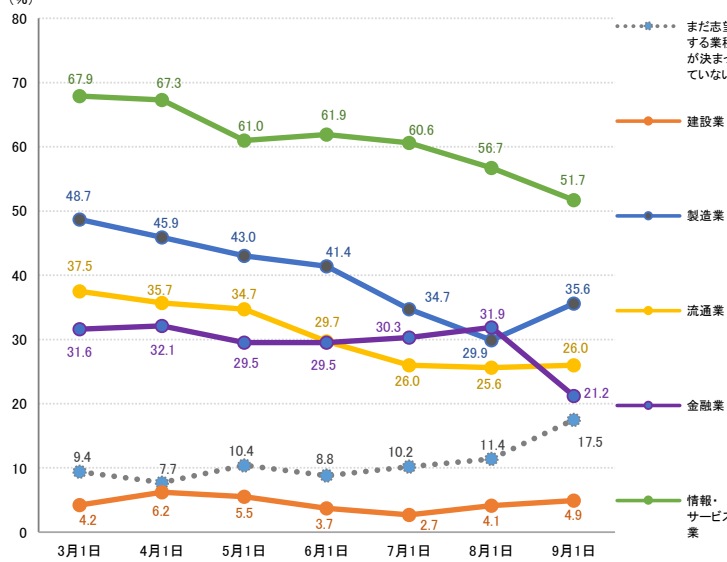


<理系>

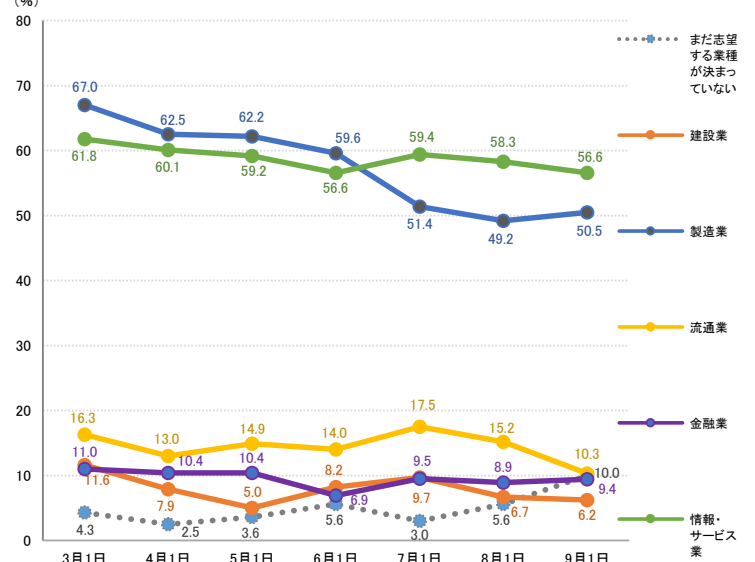


□ 2016年卒

<文系>



<理系>

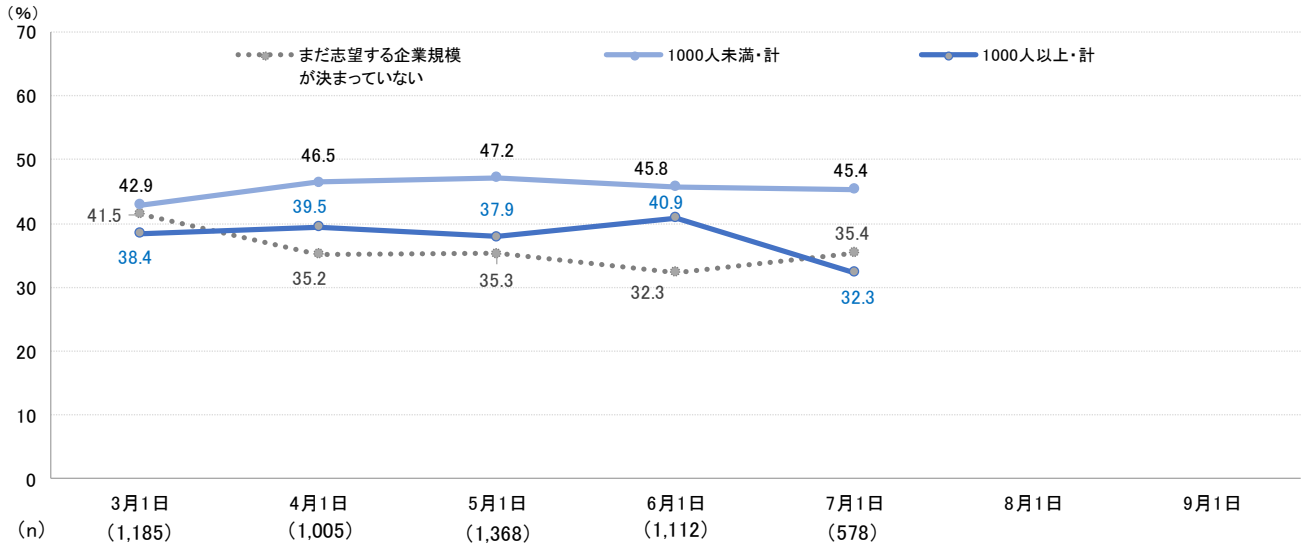


【4】就職志望状況＜従業員規模＞

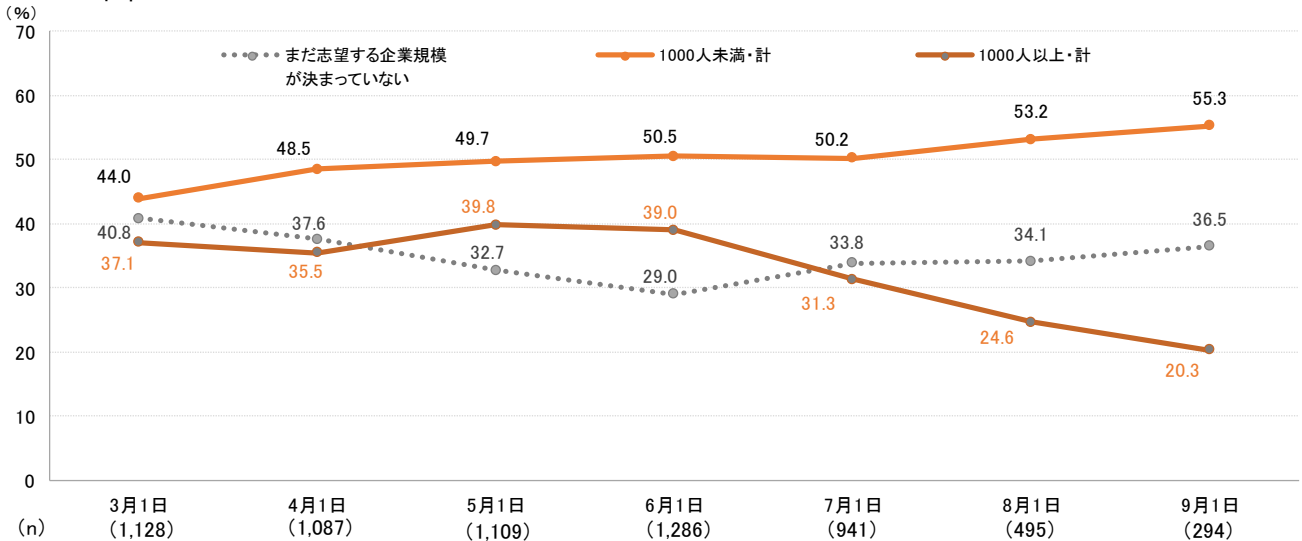
- 志望従業員規模において、「1000人未満」と回答した学生の割合を見ると、2018年卒学生では3月1日時点から5月1日時点まで上昇し、以降低下している。2017年卒学生では6月1日時点まで上昇したのち、7月1日時点は、ほぼ水準で、8月1日以降は再度上昇に転じている。
- 「1000人以上」と回答した学生の割合は、どの年も、選考開始月翌月に低下している。

■ 就職志望先 従業員規模（就職活動実施者/複数回答）

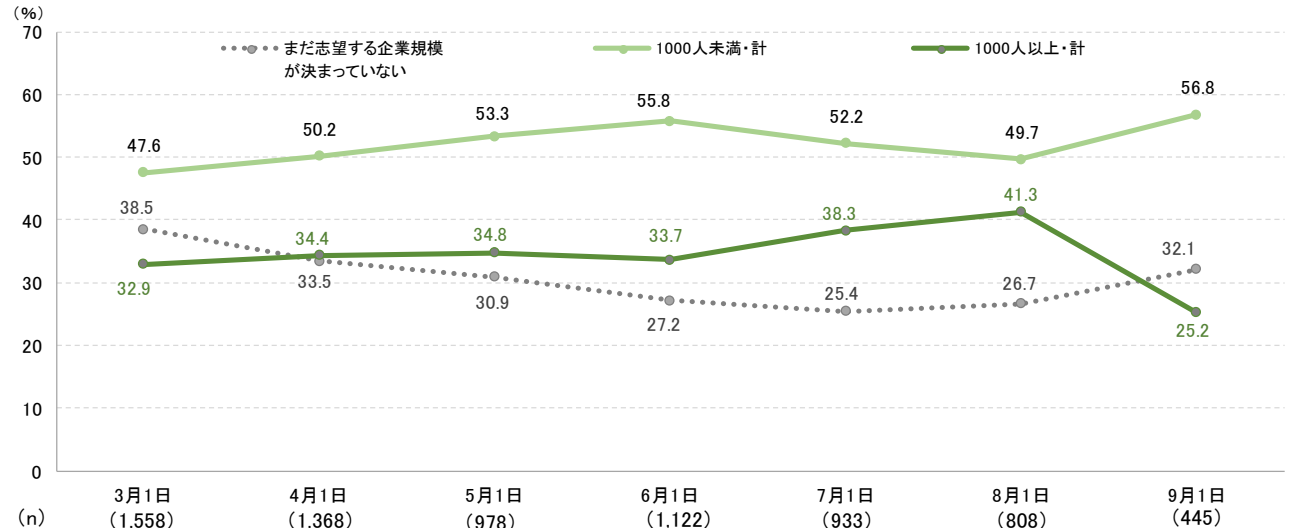
□ 2018年卒



□ 2017年卒



□ 2016年卒

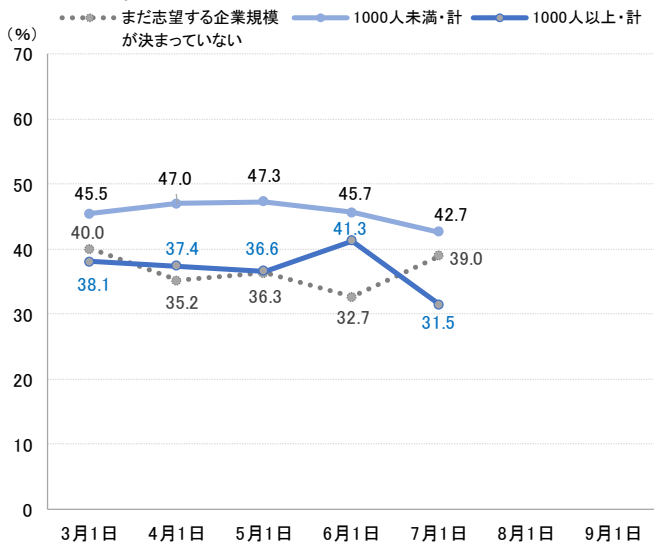


≪属性別データ≫

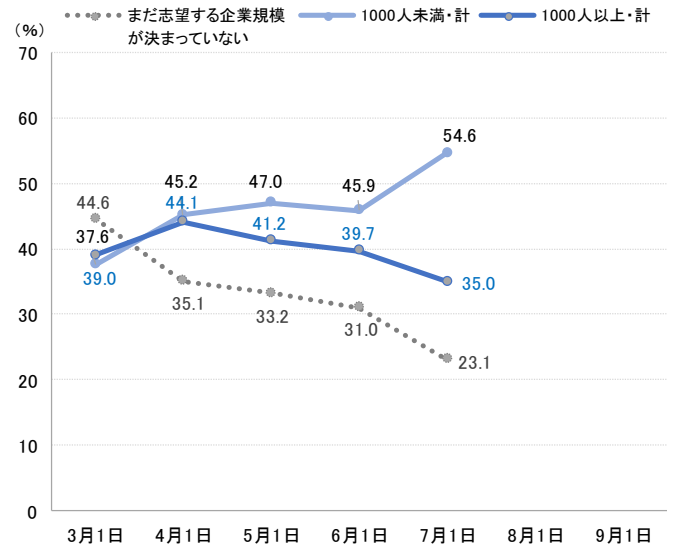
■ 就職志望先 従業員規模 文系・理系別 (就職活動実施者/複数回答)

□ 2018年卒

<文系>

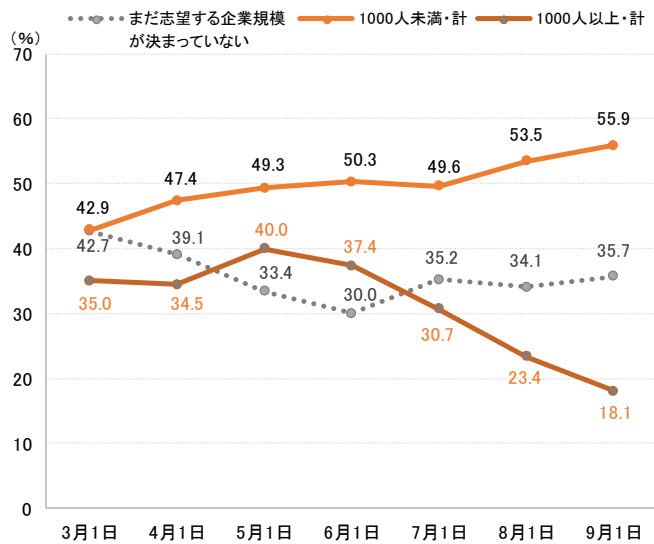


<理系>

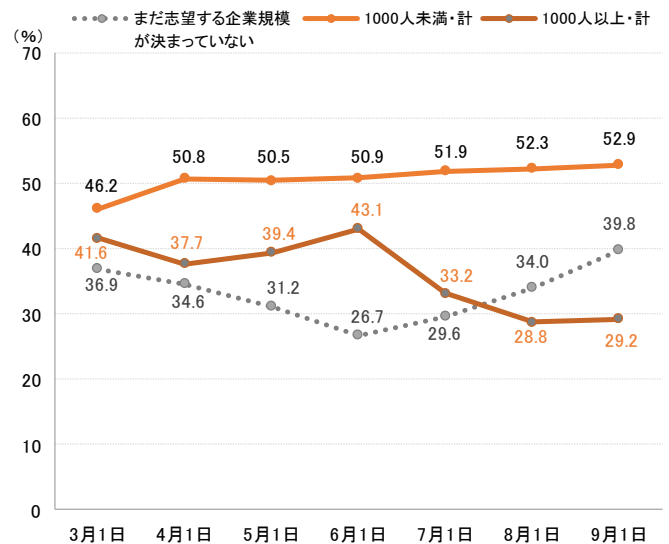


□ 2017年卒

<文系>

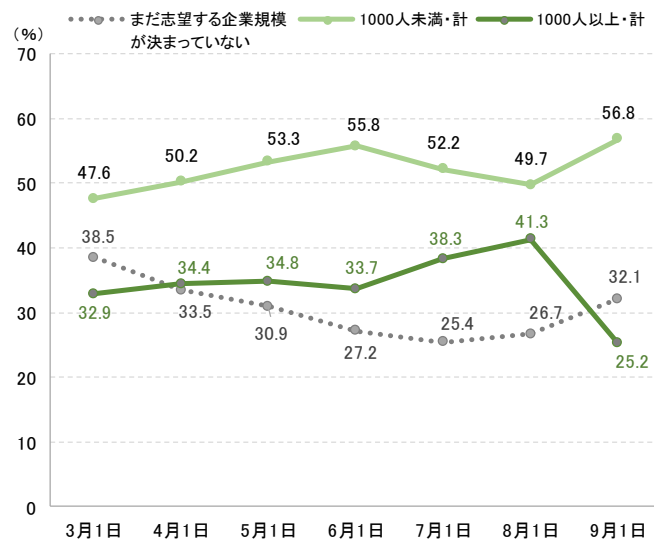


<理系>

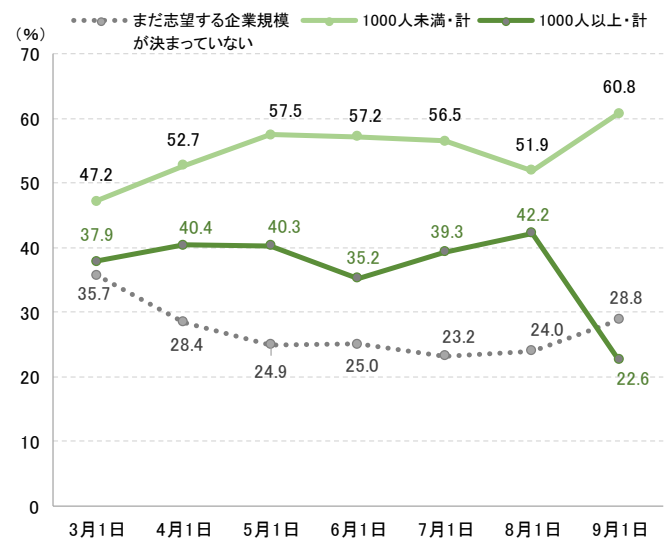


□ 2016年卒

<文系>



<理系>



【参考】現在の就職予定先企業への就職意向

※2018年卒7月度調査より

もう一度就職活動を始めからやり直す場合の、現在の就職予定先企業への就職意向（2018年卒7月1日時点）

● 2018年卒学生の7月1日時点での民間企業への就職確定者に、もう一度就職活動を始めからやり直すとしても、現在の就職予定先企業に就職したいか聞いたところ、「そう思う」が33.9%で、「どちらかといえばそう思う」が34.5%であった。

■ もう一度就職活動を始めからやり直す場合の、現在の就職予定先企業への就職意向
 大学生_全体(就職志望者・民間企業への就職確定者/単一回答) ※大学院生除く

					(%)		
そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	そう思う 計	そうは思わ ない 計	
33.9	34.5		21.0	6.3	4.2	68.4	10.5

□ もう一度就職活動を始めからやり直す場合の、現在の就職予定先企業への就職意向
 大学生_文理・男女別(就職志望者・民間企業への就職確定者/単一回答)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	そう思う 計	そうは 思わ ない 計
大 学 生	文系	31.7%	35.0%	21.6%	7.4%	4.3%	66.7%	11.7%
	理系	37.9%	33.7%	20.0%	4.3%	4.2%	71.6%	8.5%
	男性	33.9%	33.6%	22.7%	5.2%	4.6%	67.5%	9.8%
	女性	33.9%	35.6%	19.1%	7.6%	3.9%	69.5%	11.5%
大学院生		35.9%	39.0%	16.7%	5.4%	3.1%	74.9%	8.5%

<「もう一度就職活動を始めからやり直す場合の、現在の就職予定先への就職意向」を選んだ理由(自由回答)>

【「どちらともいえない」「どちらかといえばそうは思わない」「そうは思わない」を選んだ学生】

- 1年の頃から公務員を目指せばよかったと思っているから。(文系、男性)
- 7月末までにどうしても内定を決めたくて妥協した。可能であるならば別の企業がよかった。(文系、女性)
- ブラック企業という噂を聞いたから。(理系、女性)
- もっと行きたい企業があったから。(文系、男性)
- よく調べていたわけではないため、もっとよく調べていたらもっといいところがあったかもしれない。(理系、女性)
- もっと早くから始め、インターンに行ったりしていたら違ったかもしれない。(文系、女性)
- 決めところが本当に自分に合ってるか正直わからないから。(文系、女性)
- もっと大手の会社を狙えたと思うから。(文系、女性)
- 今ならもう少し上手に面接にのぞめたと思うから。(文系、女性)
- 残業が多いから。(文系、女性)
- 自分の意見でなく、人に流されて就職先を考えたため。(理系、女性)
- 就職活動初期段階では知らなかった企業だから。(文系、女性)
- 福利厚生等の面では条件がやや厳しい気がするから。(文系、女性)
- 本社が名古屋で、関西に戻る事が難しい為。(文系、女性)